

説明資料



白井市の概要



行政経営改革課

白井市の地勢



千葉県北西部

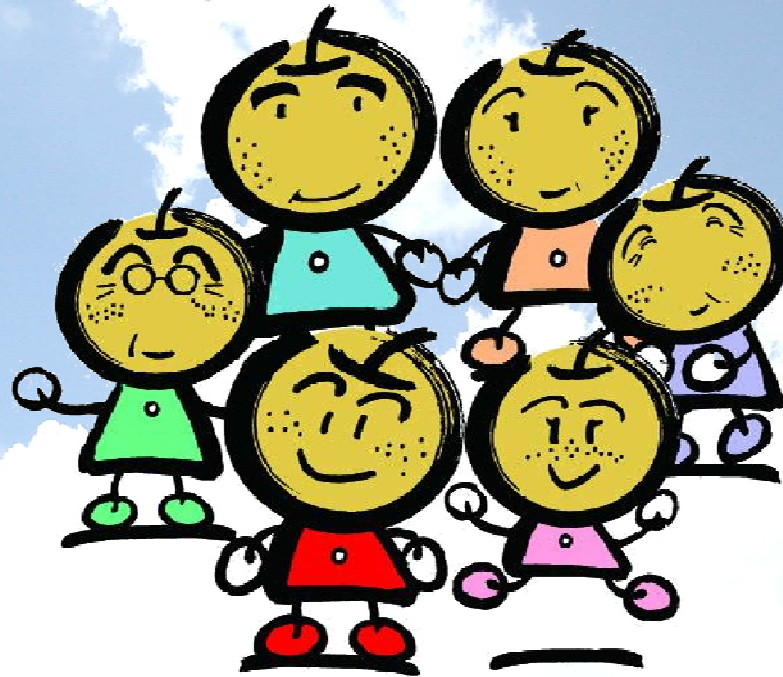
東京・成田空港から30km圏

面積:35.48km²

人口:63,092人

現状について

1) 特徴・評価



白井市の特徴

■人口増加(813市区中3位) 13.84%

※日本全体では人口減少社会の中、本市の人口は増加

●年少人口増減率(813市区中3位) 20.03%

●老年人口増減率(813市区中1位) 46.64%

■東京都心・成田空港へいずれも30km圏、自然豊かなまち

■全国有数の梨の産地

■日本で唯一の競馬学校

■ニュータウンエリアは地盤が強固

■議会女性議員比率が高い(38.10%)

■鉄道運賃が高い

■医療施設が少ない

全国住みよさランキング2015(東洋経済)

白井市 総合97位(全国813市区)

安心度、利便度、快適度、富裕度、住居水準充実度の5つのカテゴリーに分類し、ランク付け

安心度…782位

病院・一般診療所病床数(人口当たり)、介護老人福祉施設・介護保健施設定員数(65歳以上人口当たり)、出生数(15歳～49歳女性人口当たり)

利便度…141位

小売業年間販売額(人口当たり)、大型小売店舗面積(人口当たり)

快適度…161位

汚水処理人口普及率、都市公園面積(人口当たり)、転入・転出人口比率、新設住宅着工戸数(世帯当たり)

富裕度…100位

財政力指数、地方税収入額(人口当たり)、課税対象所得(納税義務者1人当たり)

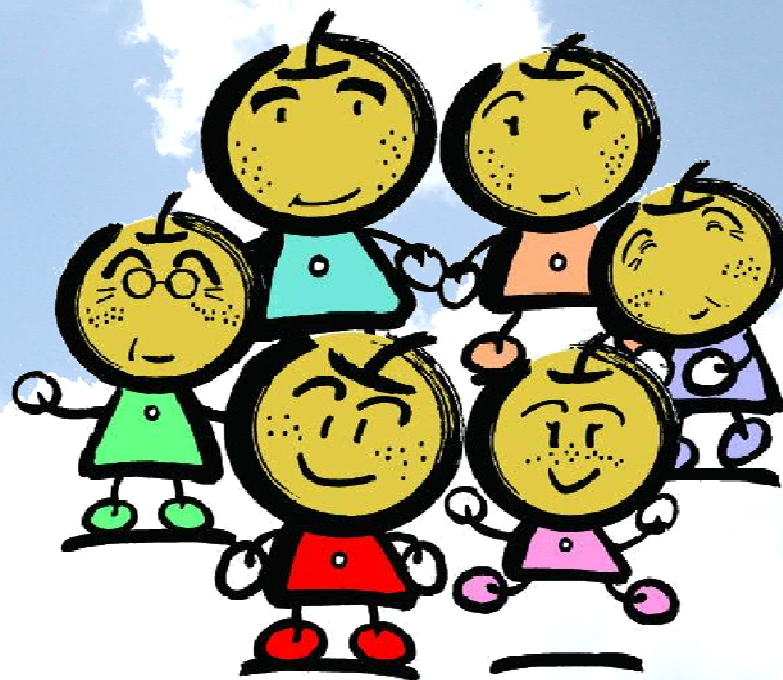
住居水準充実度…289位

住宅延床面積(世帯当たり)、持ち家世帯比率

成長力…173位、民力度…354位、財政健全度…59位

現状について

2) あゆみ・公共施設の整備など



町から市へ発展

昭和39年 町制施行 人口8,321人

昭和42年 第一工業団地造成完了

昭和45年 国道16号線 白井・千葉間開通

昭和49年 第二工業団地造成完了

昭和54年 千葉ニュータウン入居開始(大山口・清水口)

昭和55年 人口2万人突破 人口伸び率全国一

平成 3年 北総開発鉄道全線開通

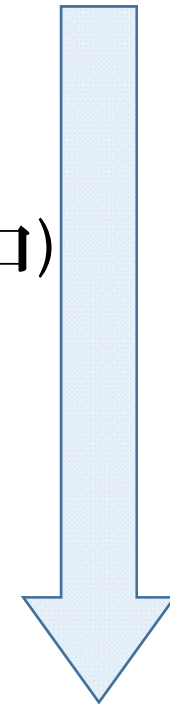
平成 9年 人口5万人突破

平成13年 市制施行 人口50,936人

平成21年 人口6万人突破

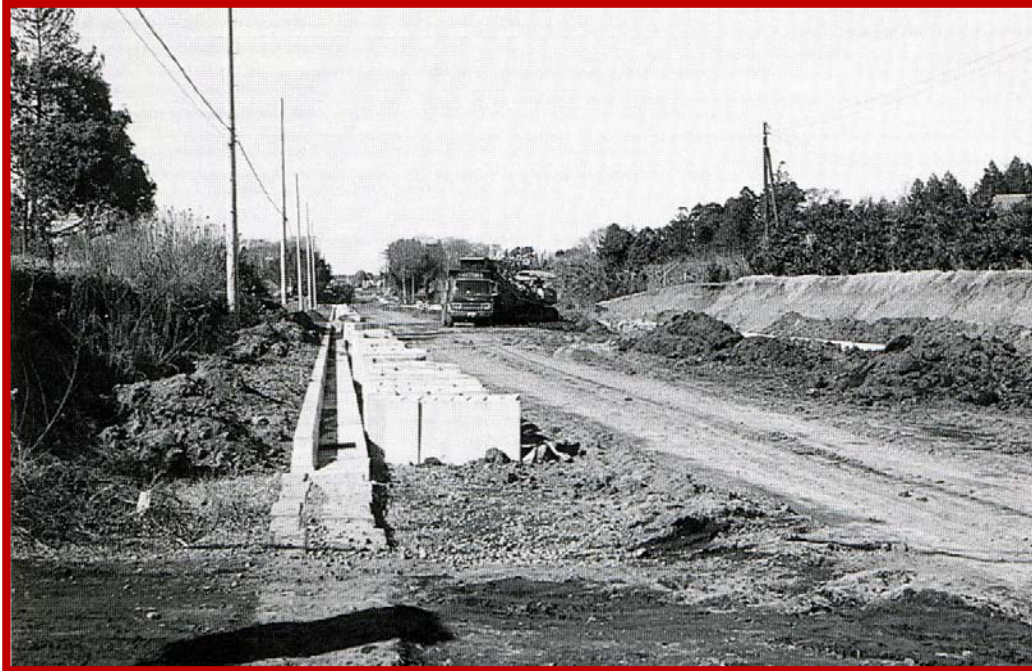
平成23年 市制10周年

準農村地域



ベッドタウン

国道16号



写真上：工事中(昭和43年)

写真下：完成後(平成13年)

※現在のスーパータイヨーと
携帯電話のauのある付近

千葉県内の全通は昭和49年。野田ー千葉間で最も開通の遅れた区間が現在の白井交差点と白井交番の間だった

※国道の名称に「線」は付かない



西白井駅前



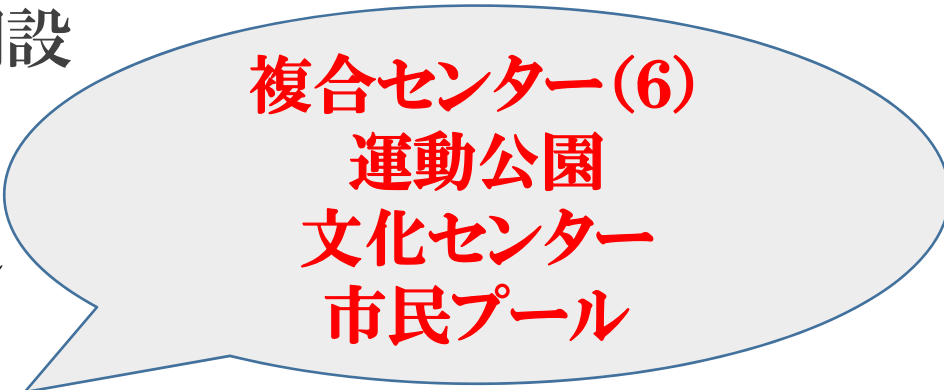
街開き当時の西白井駅北口

現在の西白井駅北口



公共施設の整備状況

昭和56年	役場庁舎開庁(平成30年新庁舎整備)
昭和57年	西白井複合センター開設(平成26年大規模改修)
昭和61年	白井駅前センター開設
平成 元年	福祉センター開設
平成 2年	富士センター開設
平成 3年	町民プールオープン
平成 5年	公民センター開設
平成 6年	桜台センター開設、文化センター開設
平成 9年	白井運動公園開園
平成13年	保健福祉センター開設
平成23年	白井コミュニティーセンター開設



複合センター(6)
運動公園
文化センター
市民プール

役場庁舎の変遷



大正13年初代庁舎(根63)

⇒
隣接地に新築



昭和39年2代目庁舎(白井377)



初代と
2代目の
位置関係



2代目完成後は公民館へ(昭和52年まで)

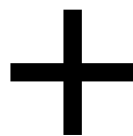


昭和47年に3階部分増築(平成14年まで)

これからの市役所庁舎



昭和56年 3代目(現行)庁舎



平成13年 保健福祉センター

－ 減築 (庁舎5Fより上階) ＋ 新築



平成30年完成予定

学校等整備状況

耐震改修工事は終了！

昭和44年	白井中学校
昭和52年	第二小学校
昭和53年	第三小学校
昭和54年	大山口中学校、大山口・清水口小学校、 清水口保育園、南山小学校
昭和55年	第一小学校
昭和56年	南山中学校、南山保育園
昭和58年	白井高校
昭和59年	七次台中学校
昭和60年	七次台小学校
平成 2年	池の上小学校
平成 6年	桜台小・中学校、桜台保育園

小学校9校
中学校5校
保育園3園

白井第一小学校の木造校舎



- 白井第一小学校の校歌の一番に「朝日に映ゆる紅瓦」という歌詞がある。「紅瓦」が出てくる木造校舎が建てられたのは昭和11(1935)年
- 木造校舎は昭和55(1980)年に現在の校舎が完成するまで40年以上使用された。校舎が解体される直前には校庭で「お別れ会」が盛大に開催された。

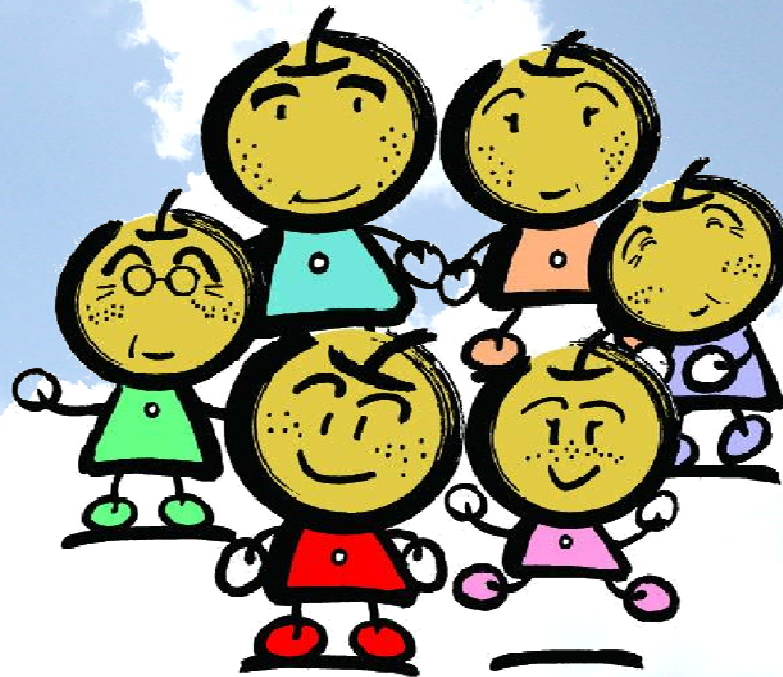
白井第二小学校の木造校舎



白井第二小学校の木造校舎が建てられたのも昭和11年。統合を巡って起きたさまざまな話は、今井庄一さんが『たいわ』に寄稿しています

現状について

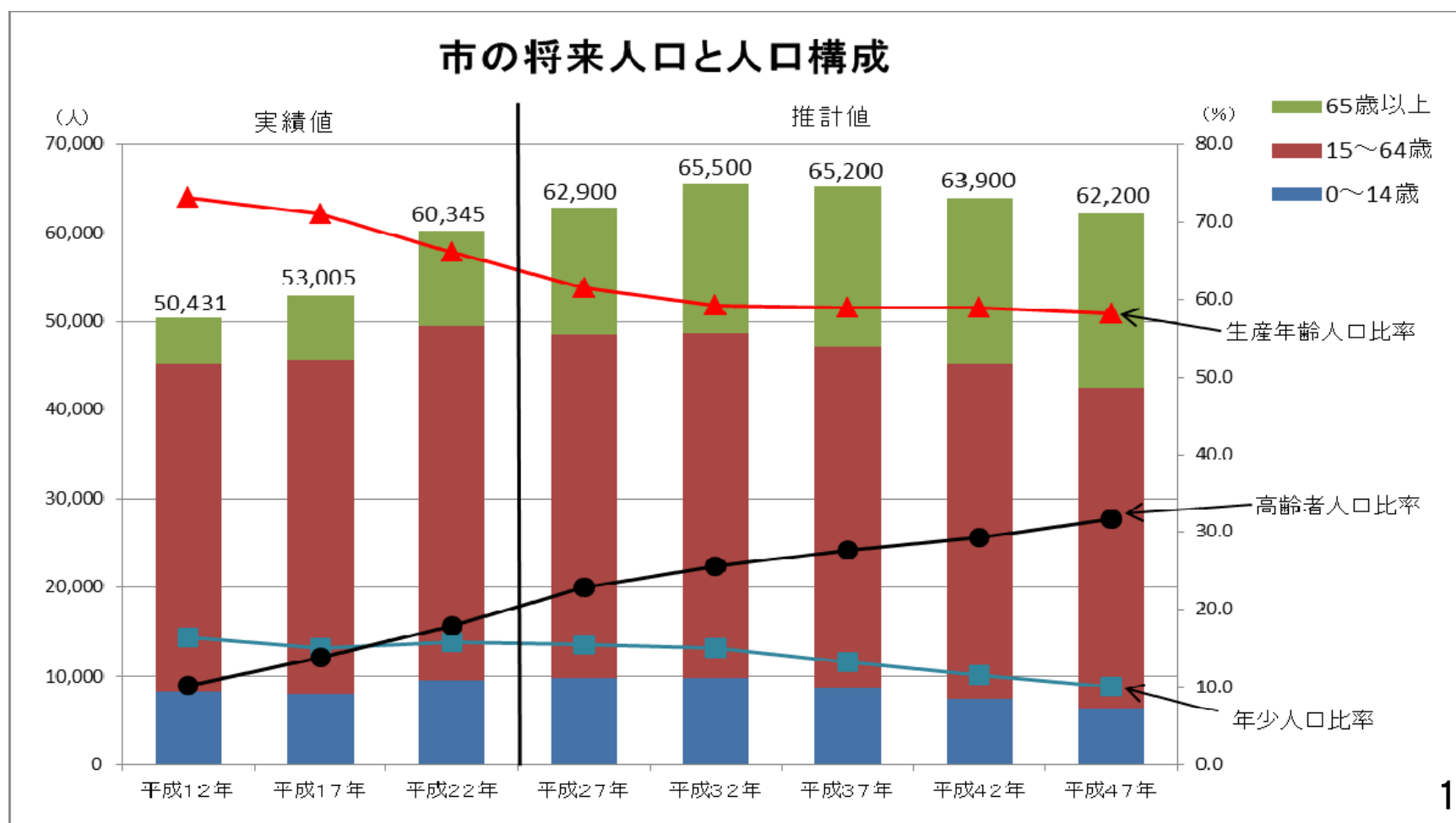
3) 人口・土地利用など



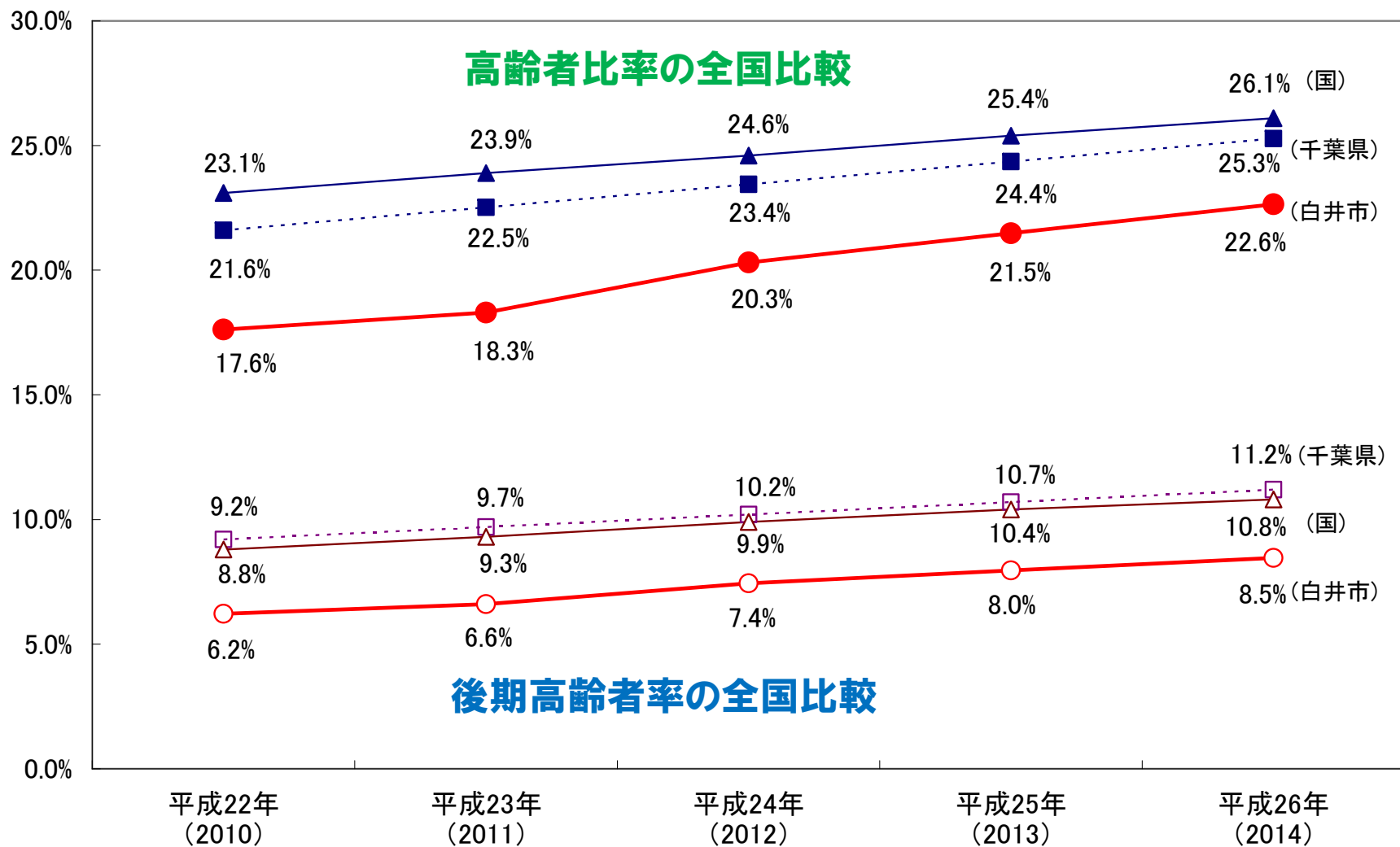
人口構成

●少子化・高齢化の更なる進展と人口減少への対応

- ・白井市の人口は、平成32年をピークに減少していく見込みです。
- ・年少人口や生産年齢人口は減少し、高齢者人口が増加する見込みです。



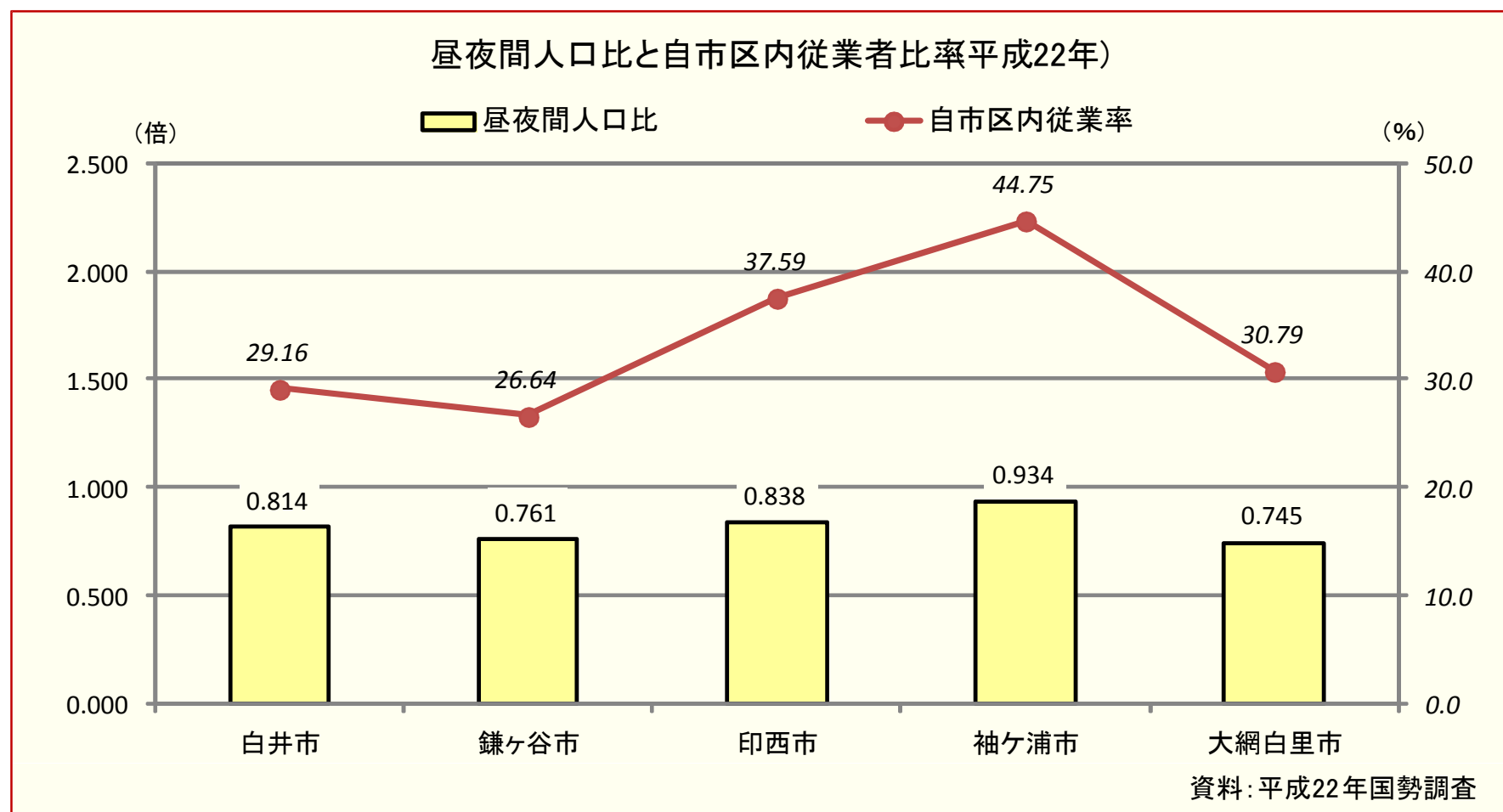
高齢化率・後期高齢者率の全国比較



※(国)及び(千葉県)の数値は国立社会保障「日本の都道府県別将来推計人口(平成19年5月推計)」を使用 17

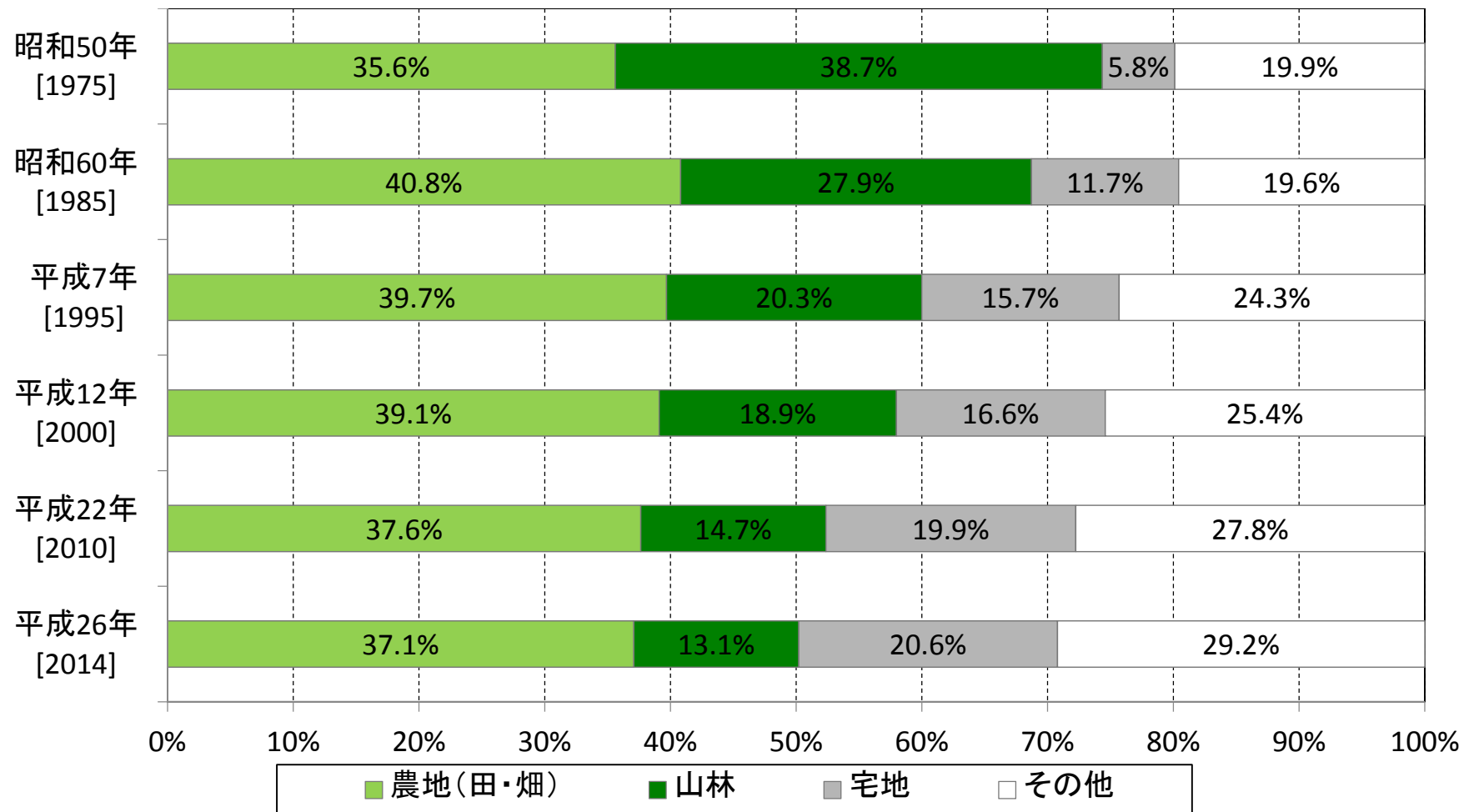
人口・世帯 昼夜間人口比率の広域比較

- 昼間人口が夜間人口より少ないベッドタウンの色彩が強い
- 市内で働く人は約3割で、鎌ヶ谷市に次いで少ない



土地利用面積の推移

山林面積が減少し、宅地面積が増加しています

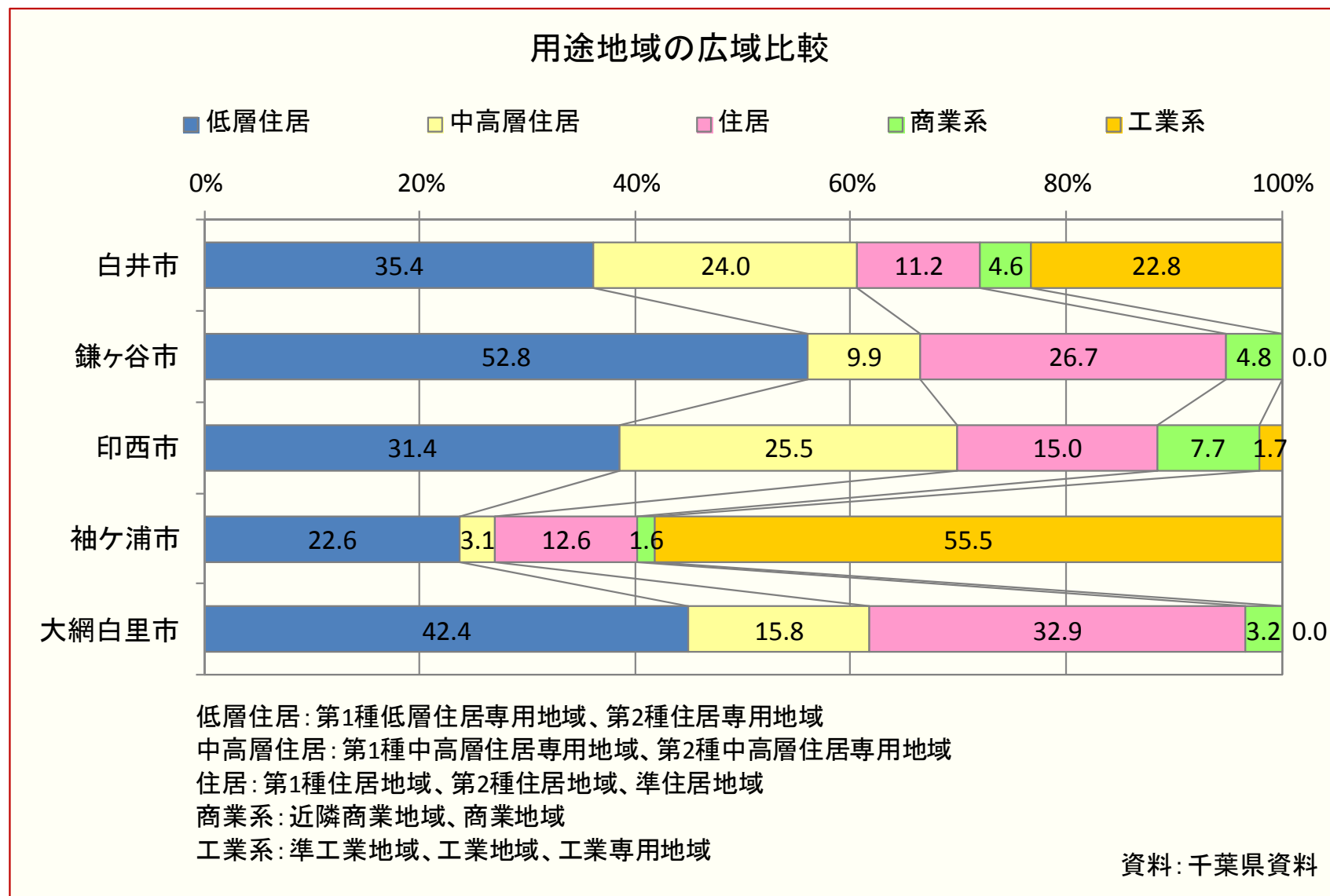


注)各年1月1日現在の面積から算出。

資料:総務部 課税課

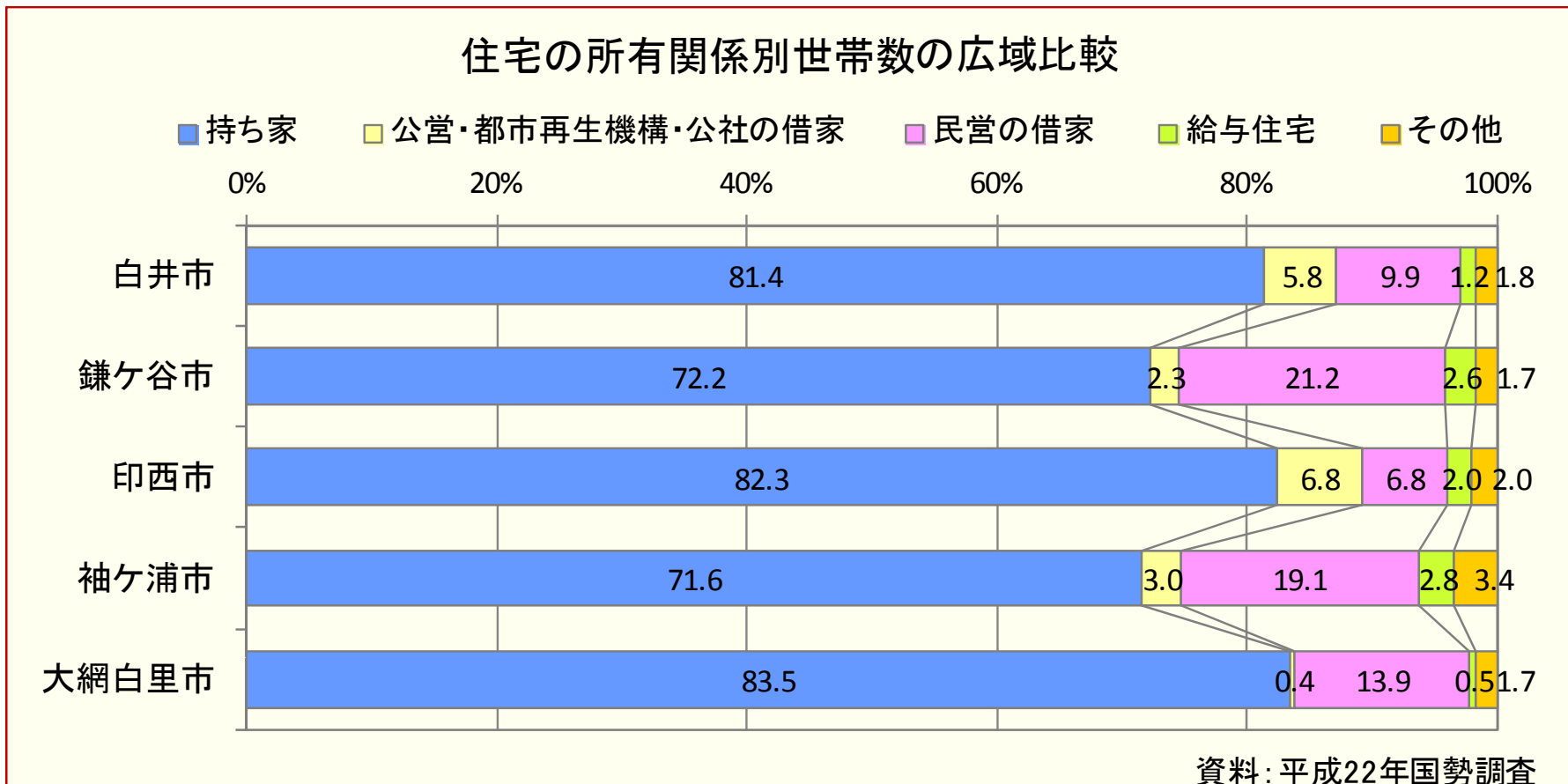
土地利用 用途地域の広域比較

○ 中高層住居や工業系の用途の比率が高い



住宅所有の状況の広域比較

- 持ち家が8割強を占め、大網白里市・印西市に次ぐ水準となっています

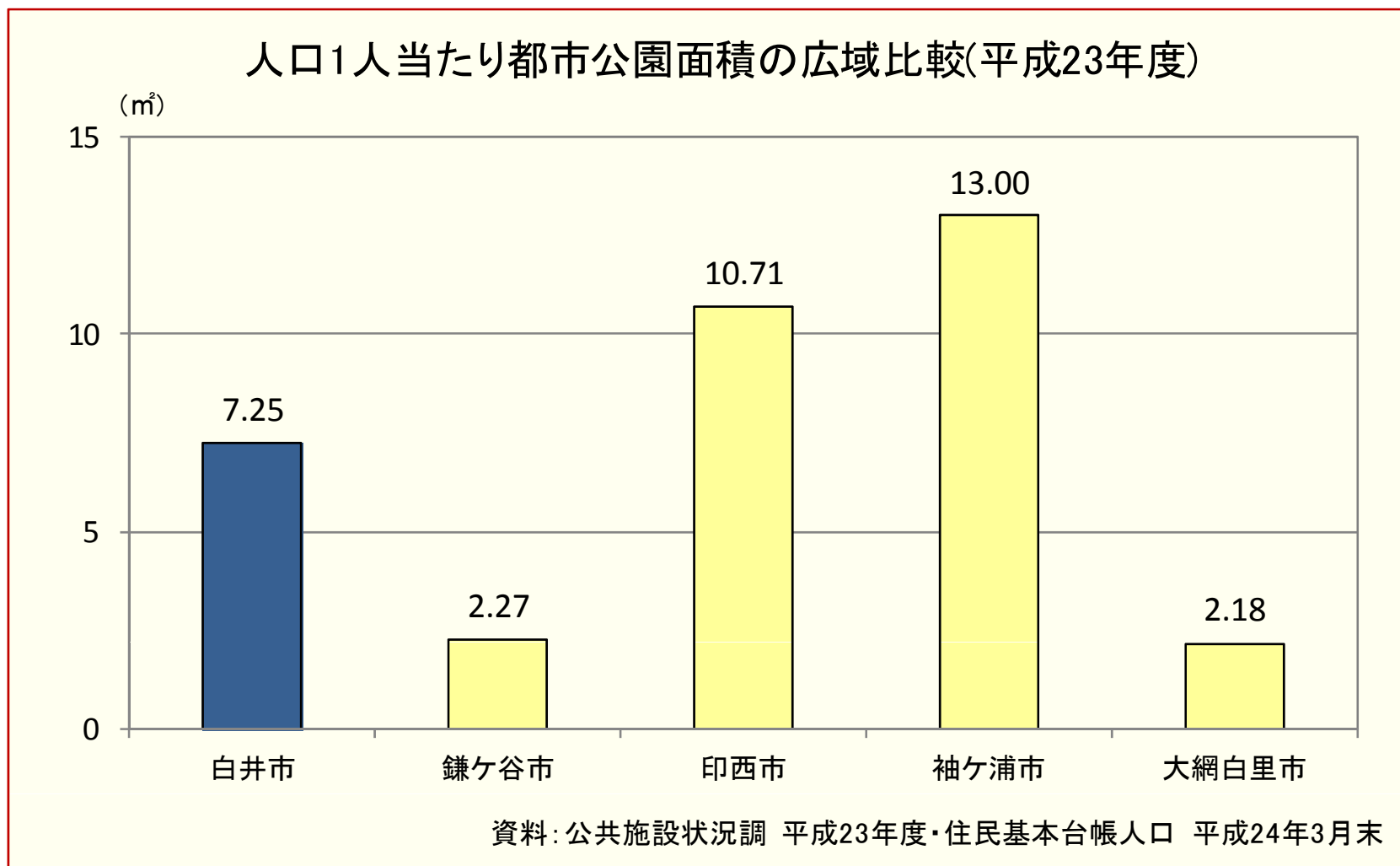


※1 給与住宅：企業や官公庁などが給与の一部として与える住宅のことで、社宅や公務員宿舎などが該当します

※2 その他：間借りや住宅以外の場所に居住する世帯など

都市公園面積の広域比較

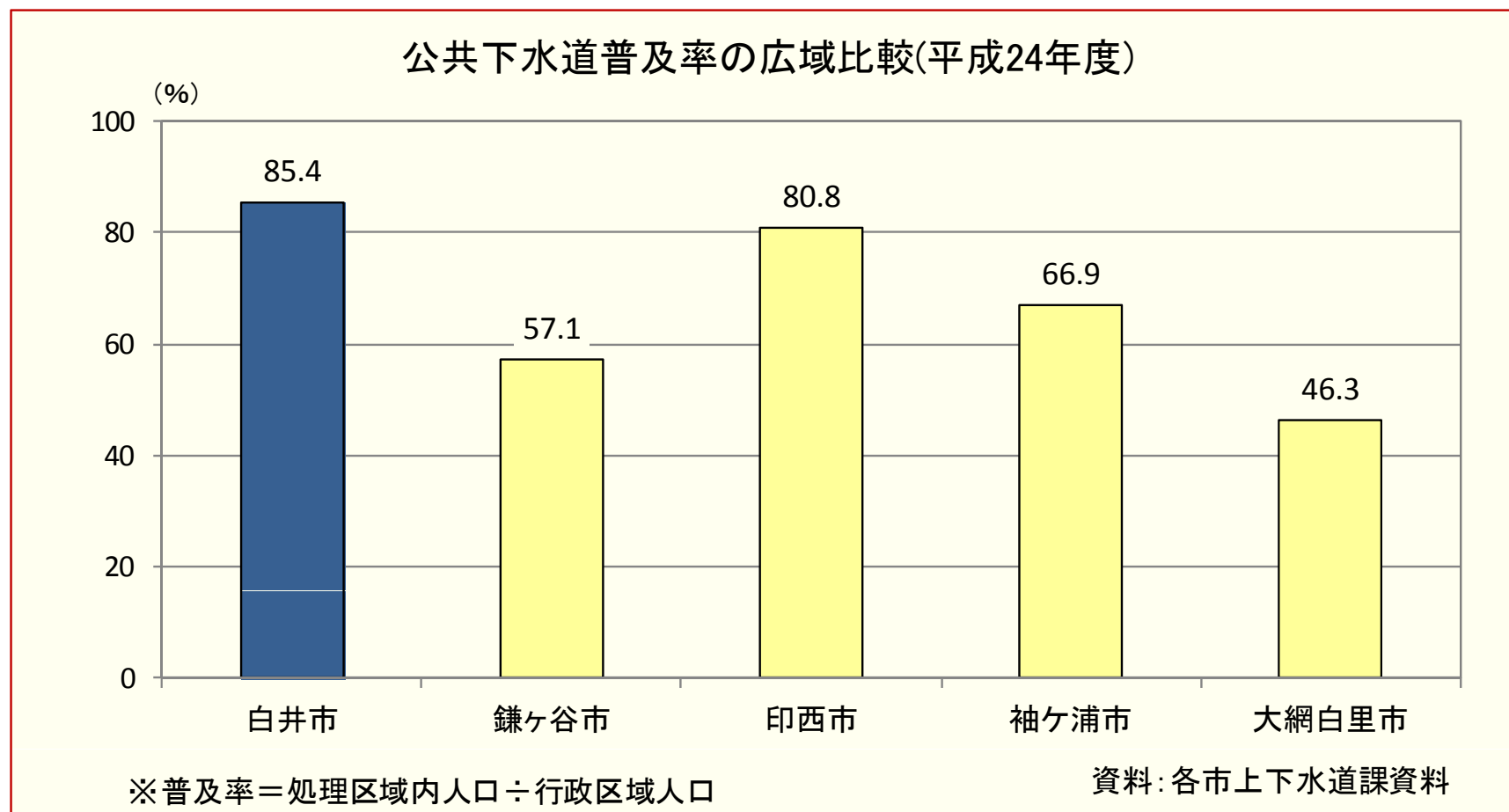
- 人口1人当たりの都市公園※¹の面積は7.25㎡で、鎌ヶ谷市や大網白里市よりは大きいものの、袖ヶ浦市や印西市を下回っています



※都市公園: 都市公園法に基づいて国・県・市町村が整備する公園のこと

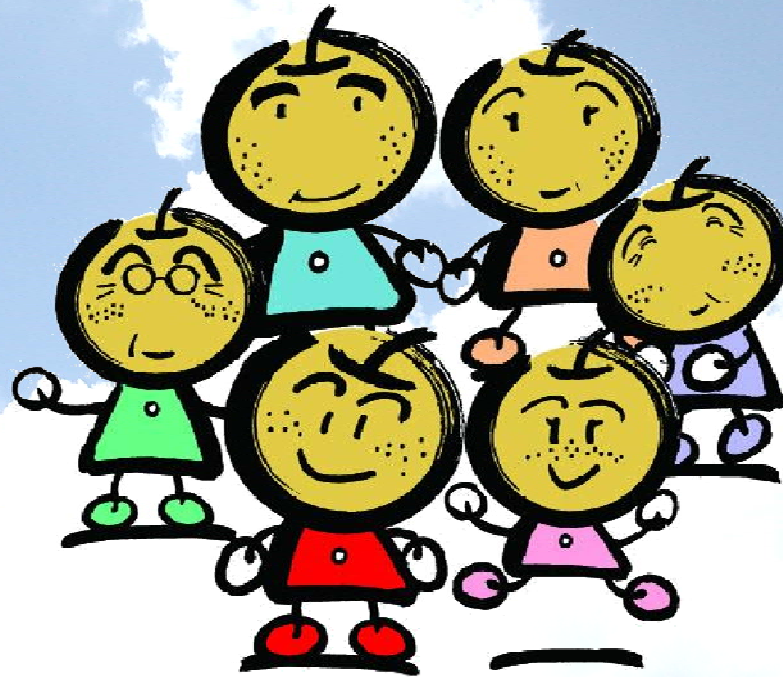
下水道普及率の広域比較

- 公共下水道普及率(総人口に占める、下水道が整備された地域に住む人口の比率)は、85.4%。
- 近隣市、類似市と比較すると最も整備率が高い



白井市の現状について

4) 農業・商業・工業など



産 業

市の産業は、ニュータウン初期から現在まで、大きく変化しています

○農業は、農家数、従事者数、経営耕地面積のいずれも減少傾向です

○商業(小売業)は、大規模店舗の増により売り場面積は増加していますが、事業所と従事者は減少傾向です ※19年以降、商業統計調査は行われていません(26年実施中)

○工業は、事業所数は減少傾向ですが、概ね横ばいです

農業

	昭和51年	昭和61年	平成12年	平成17年	平成22年度
農家数	999	926	768	709	649
農業従事者数 (人)	2,594	2,352	1,987	1,816	1,551
農業粗生産額 (千万円) (うち果実)	306 (80)	339 (100)	390 (187)	479 (254)	—
経営耕地面積 (ha)	1,121	1,043	869	798	765

資料：企画政策課(農業基本調査、農林業センサス)、関東農政局(生産農業所得統計)

商業 (小売業)

	昭和51年	昭和60年	平成14年	平成16年	平成19年
事業所数	127	157	232	243	220
従業者数 (人)	387	795	2,742	2,962	2,869
年間商品販売額 (億円)	33	145	474	522	512
売り場面積 (㎡)	—	9,865	43,836	56,915	58,869

資料：企画政策課(千葉県総合企画部統計課「商業統計調査結果報告書」)

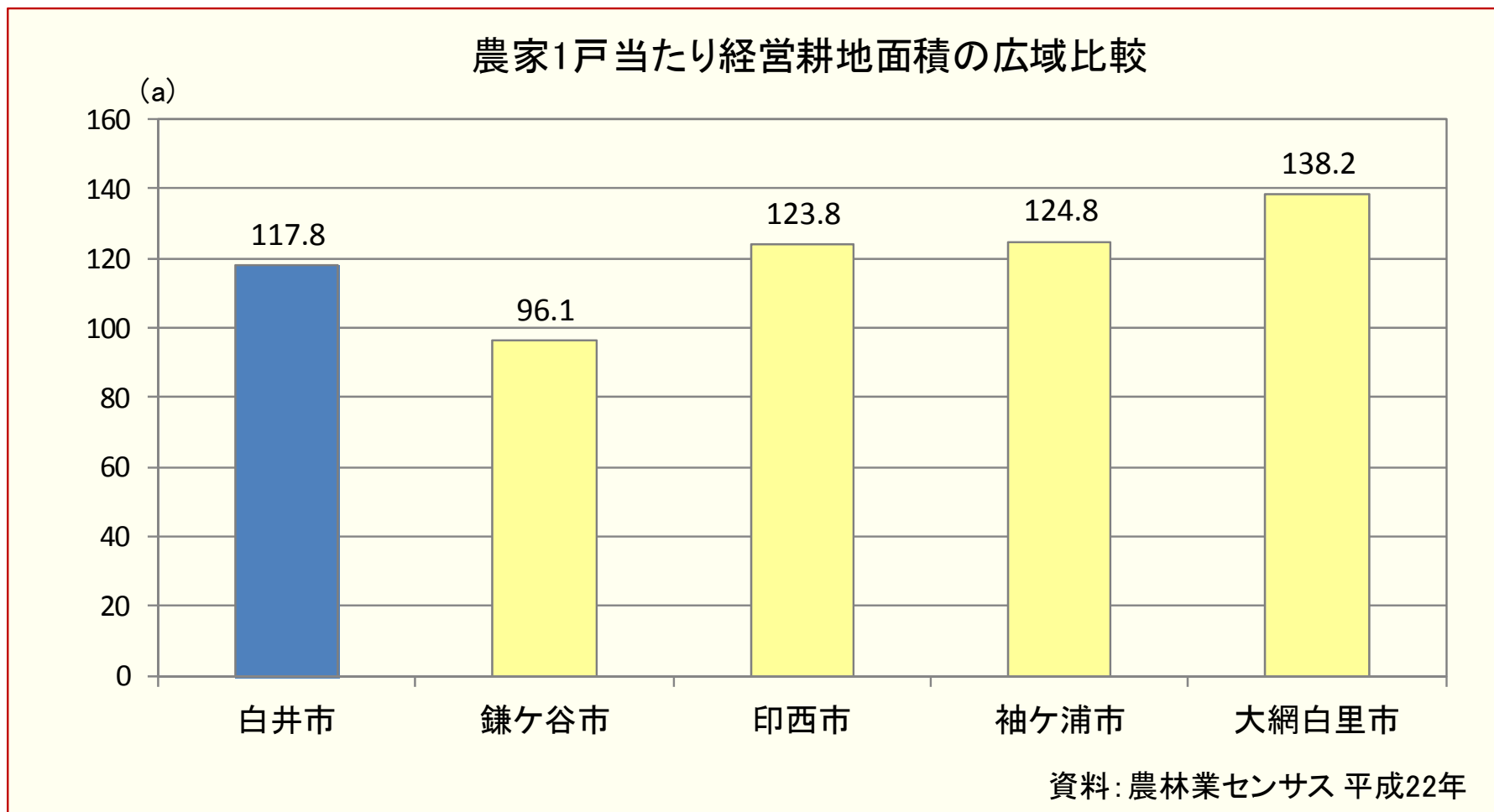
工業

	—	昭和63年	平成14年	平成18年	平成24年
事業所数	—	170	165	154	152
従業者数 (人)	—	4,046	3,804	3,720	4,026
製造品出荷額等 (億円)	—	1,037	874	934	1,380

資料：企画政策課(工業統計調査、経済センサス-活動調査)

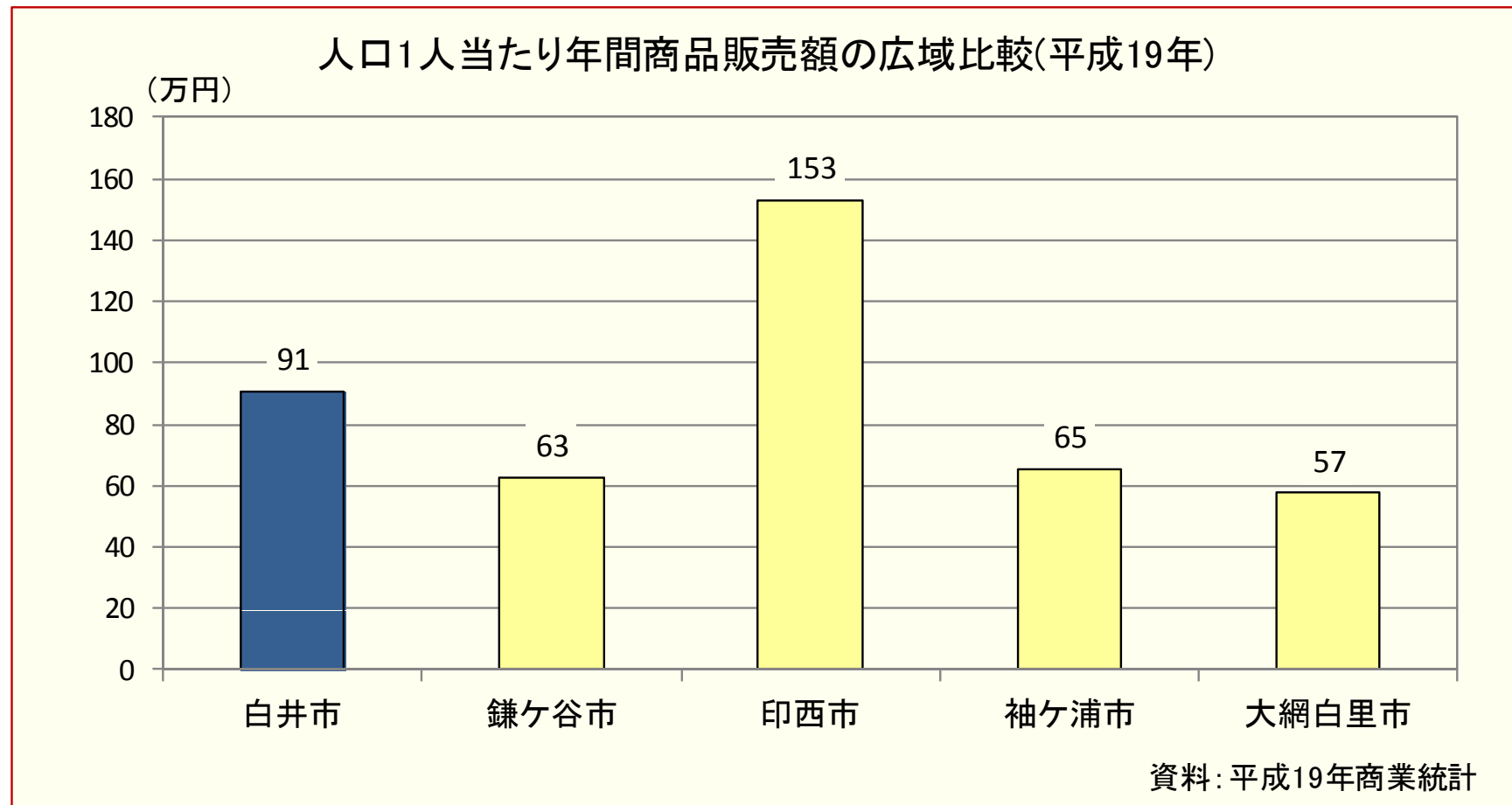
農業指標の広域比較

- 農家1戸当たりの経営耕地面積は117.8aと、近隣市、類似市に比べ規模がやや小さい



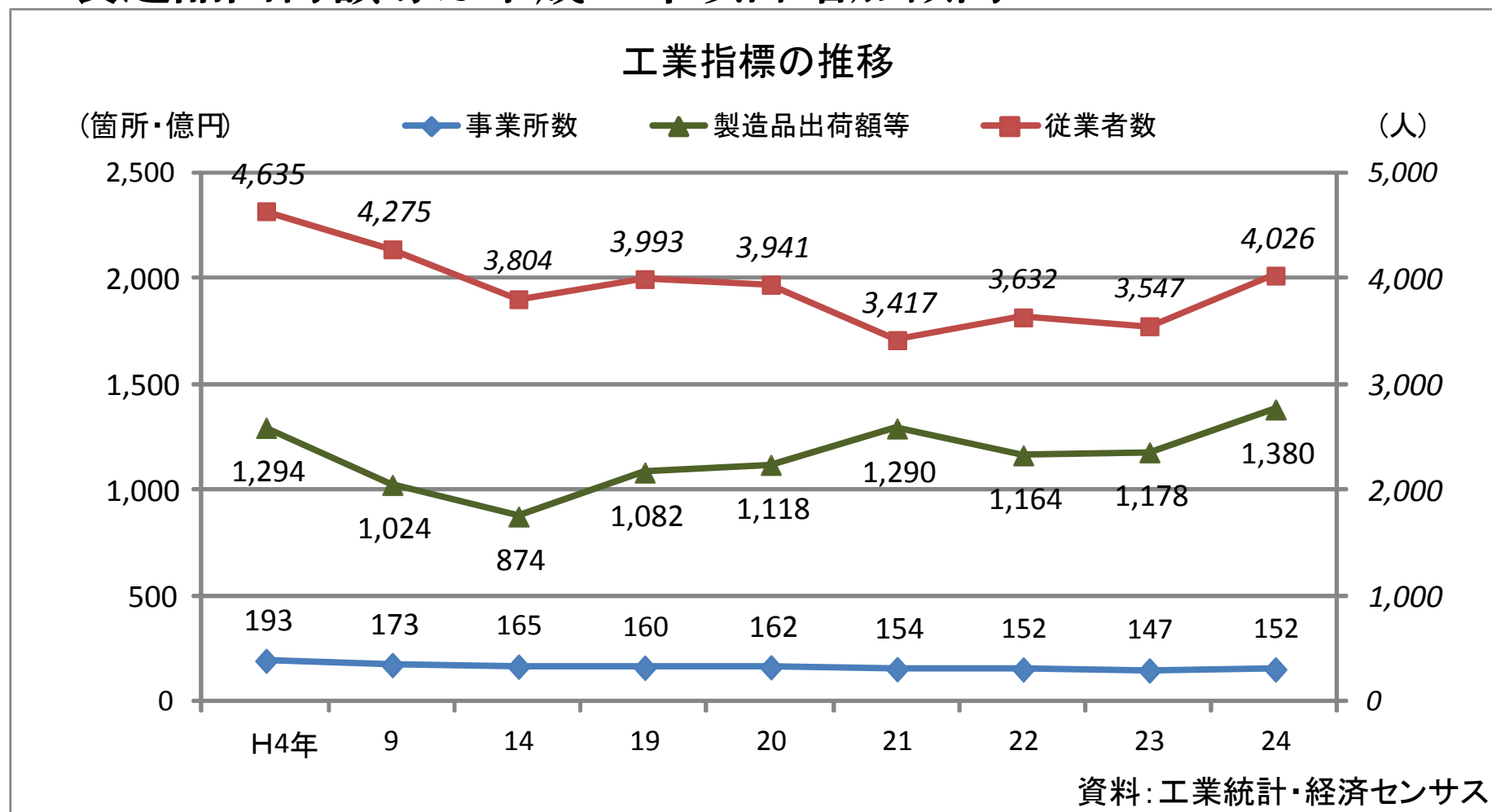
小売業指標の広域比較

- 人口1人当たりの年間商品販売額は91万円と印西市に次いで高い



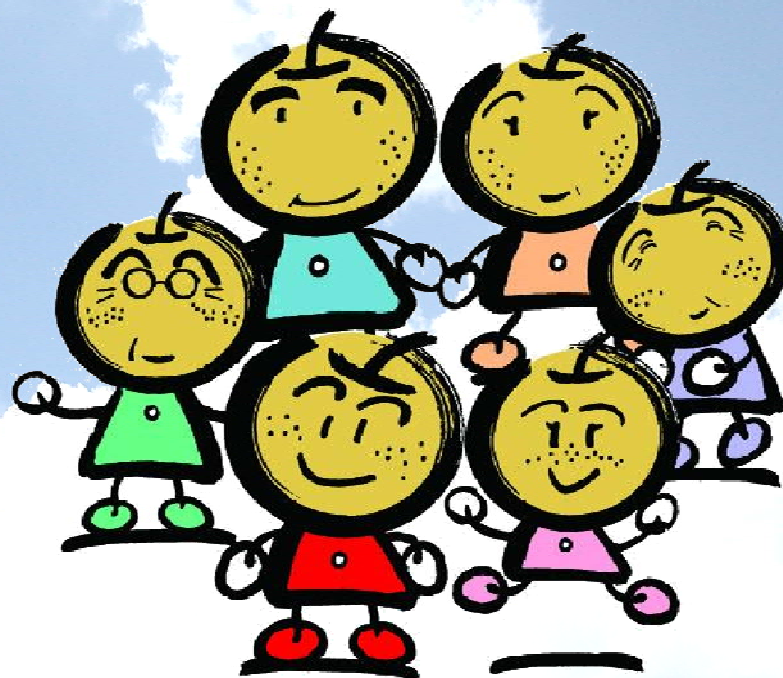
工業

- 事業所数は長期的には減少傾向にあったが、平成24年は増加
- 従業者数も平成24年は500人近く増加
- 製造品出荷額等は平成14年以降増加傾向

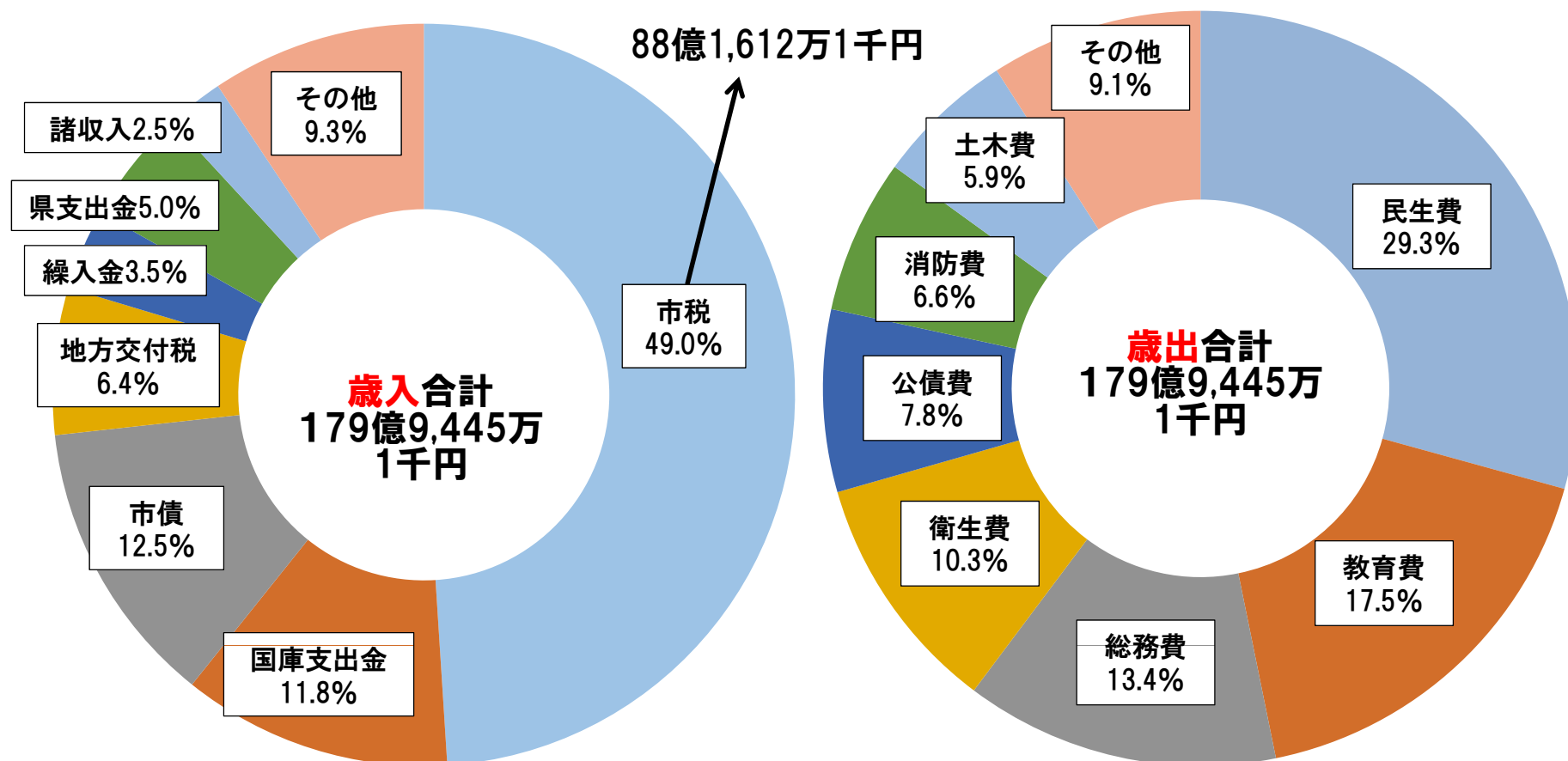


現状について

5) 予算・経常収支比率など



平成26年度一般会計当初予算 (左:歳入 右:歳出)

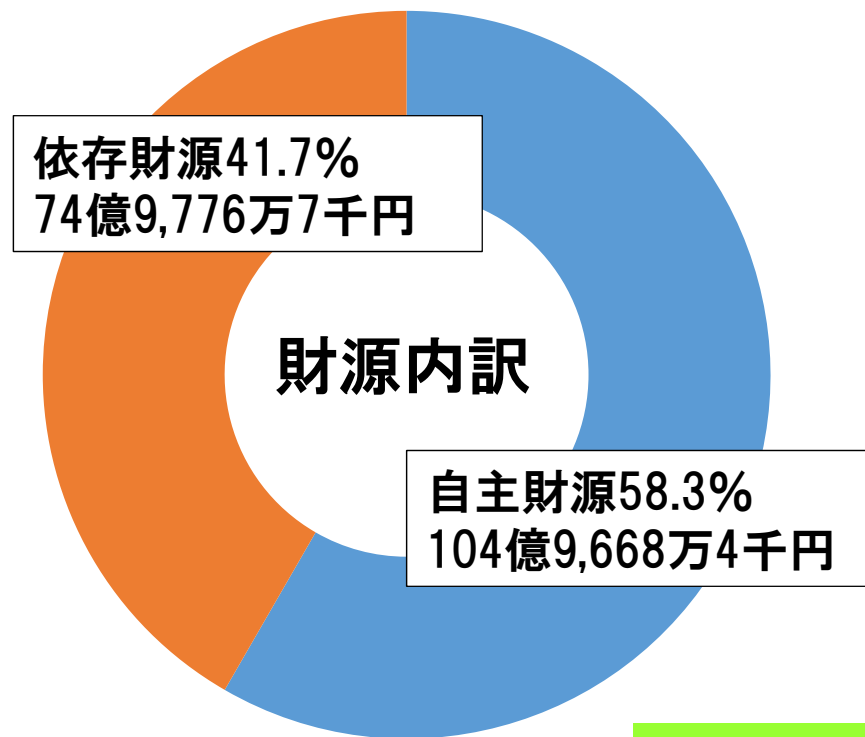


参考データ 歳入に占める地方税の割合(全国市町村平均) 34.5%

資料:平成26年版地方財政白書(24年度決算ベース)

歳入の財源内訳

平成26年度一般会計予算



自主財源は、市税や施設の使用料など、市が自主的に収入することができる財源です

内訳：市税(49.0%)／分担金及び負担金(1.5%)
／使用料及び手数料(0.7%)
財産収入(0.0%)／諸収入(2.5%)
／その他(4.6%)

依存財源は、国や県の意思によって定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入のことです

内訳：地方交付税(6.4%)／国庫支出金(11.8%)
／県支出金(5.0%)／市債(12.5%)
／その他(6.0%)

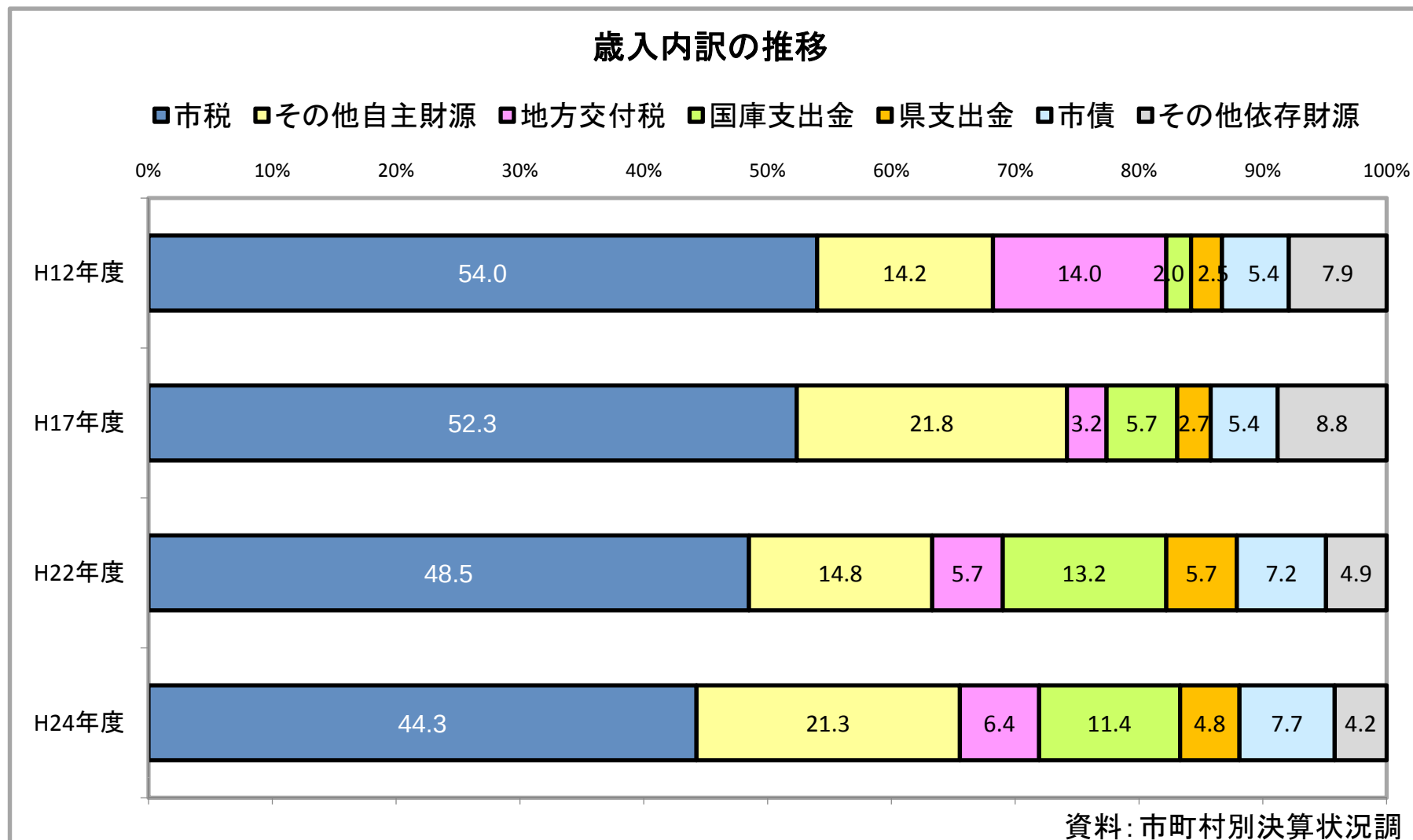
「自主財源」の割合が高い方が、「歳入の自主性・安定性が高い」といえますが、国の政策の影響でも変わります

参考データ 自主財源比率：千葉県市町村平均 57.8% 平成24年度決算

資料：市町村財政の状況 千葉県総務部市町村課

歳入内訳の推移

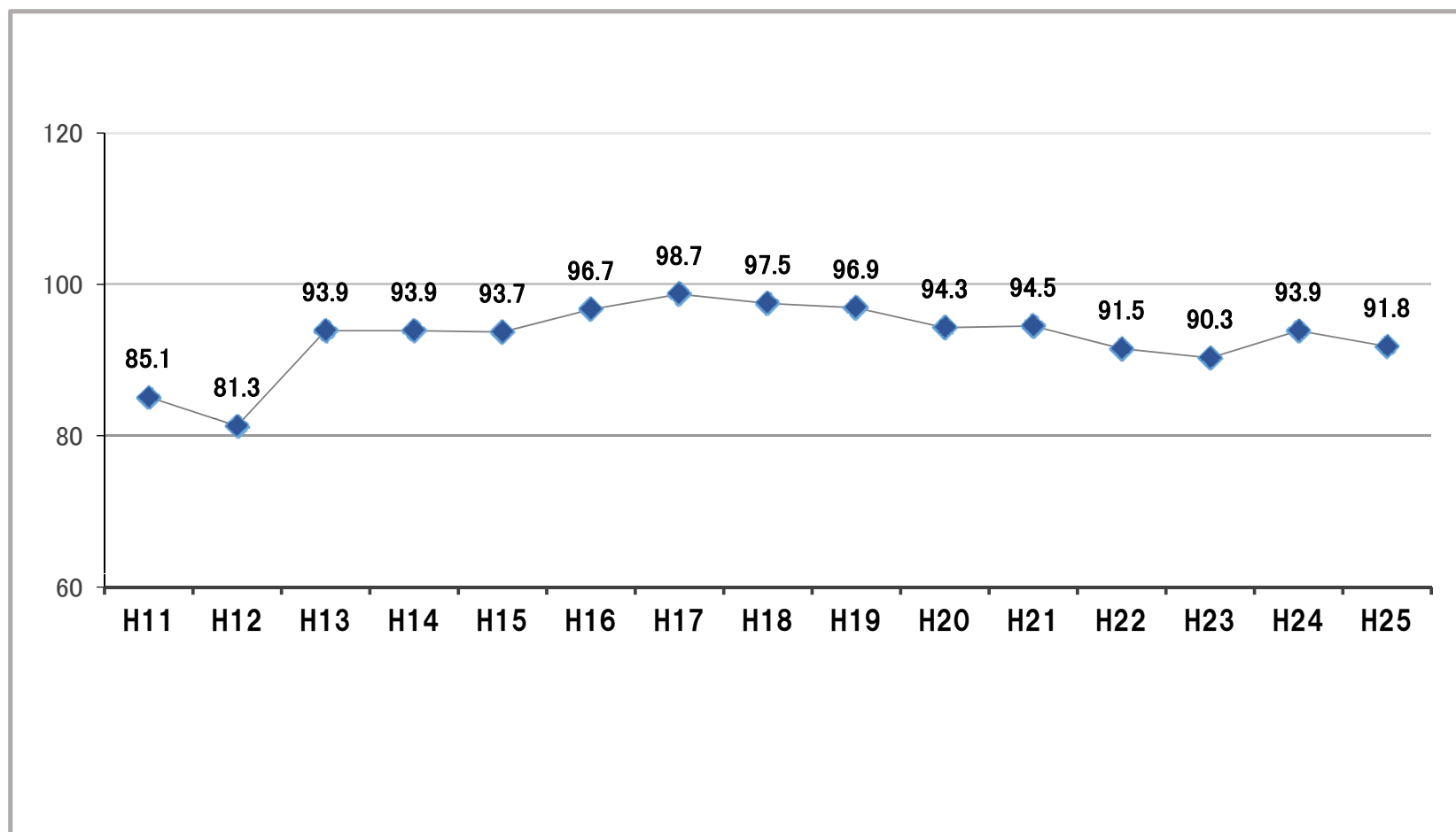
- 決算の歳入内訳の推移です
- 市が独自に調達できている歳入(市税+その他の自主財源)は減少傾向です



経常収支比率推移

白井市の経常収支比率推移

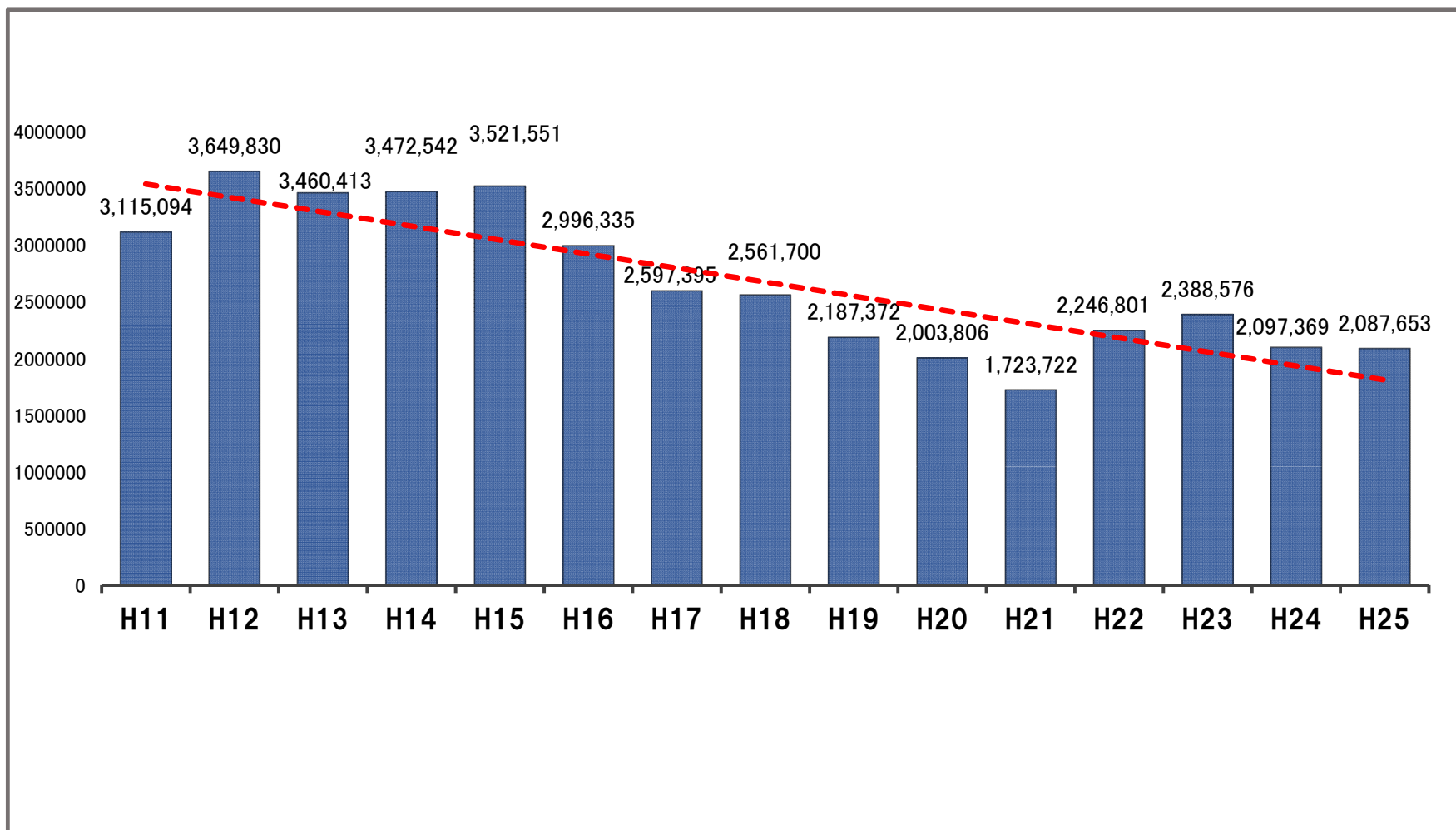
単位：％



財政調整基金の推移

白井市の財政調整基金推移

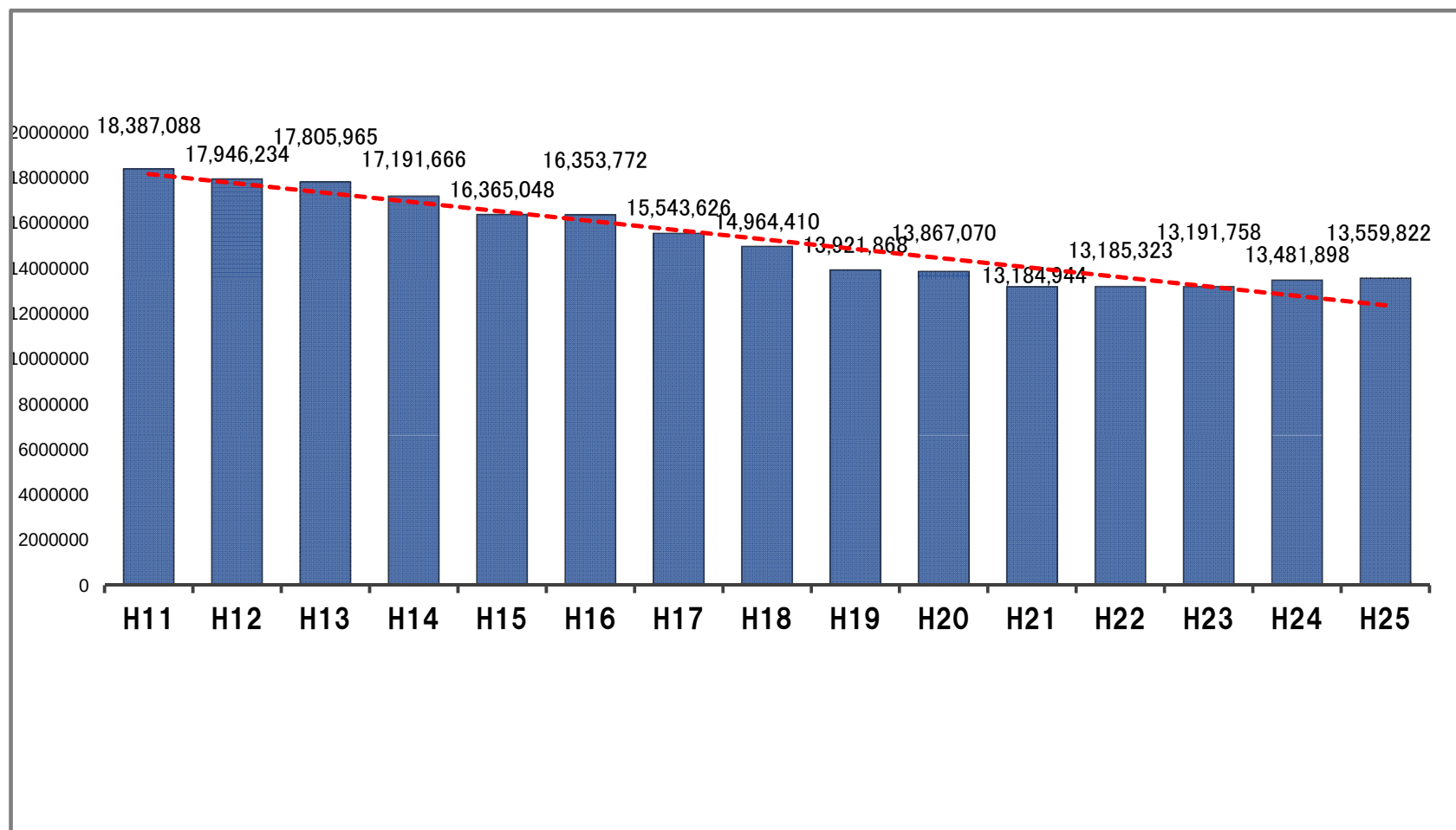
単位：千円



地方債残高推移

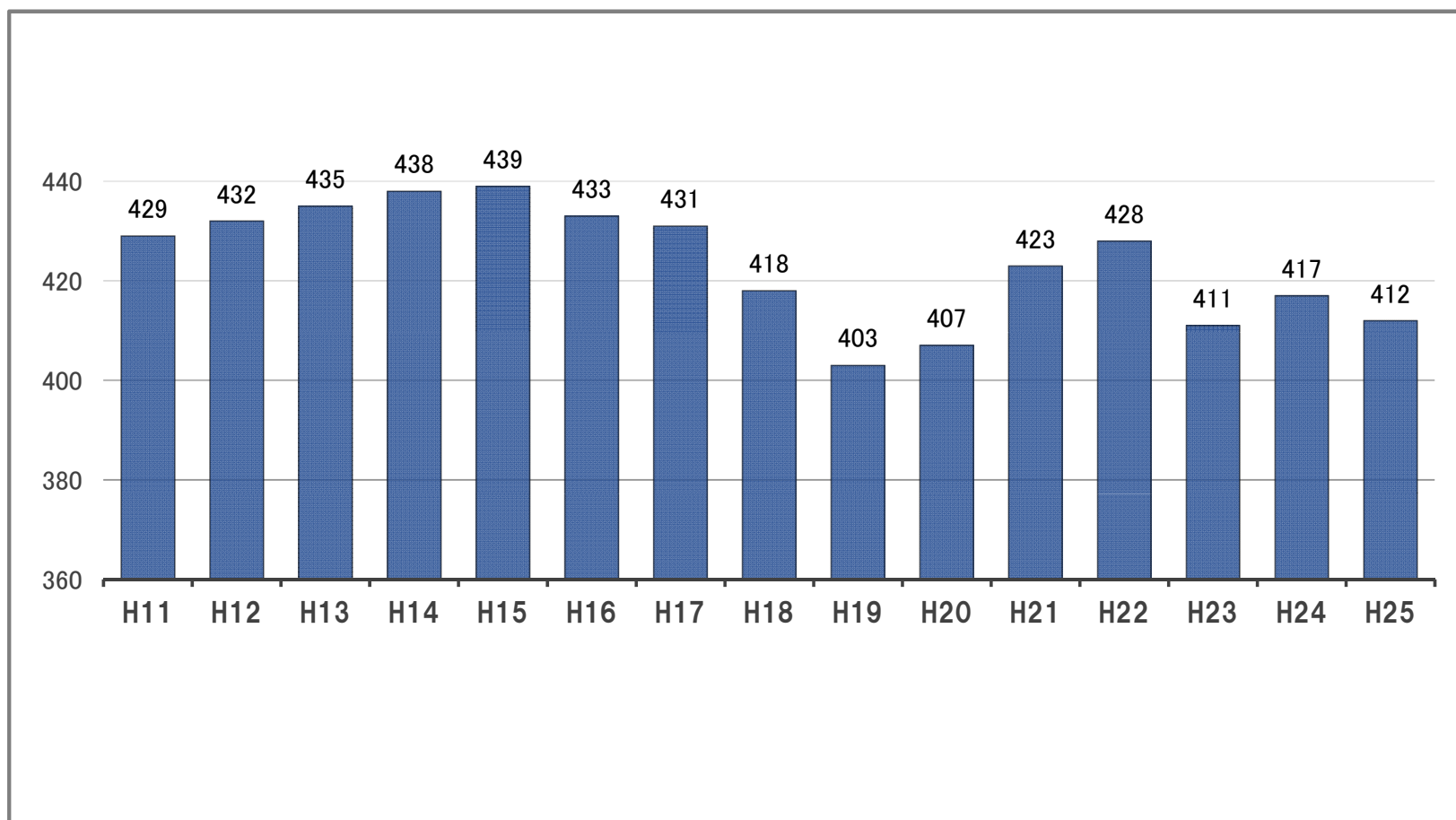
白井市の地方債残高推移

単位：千円



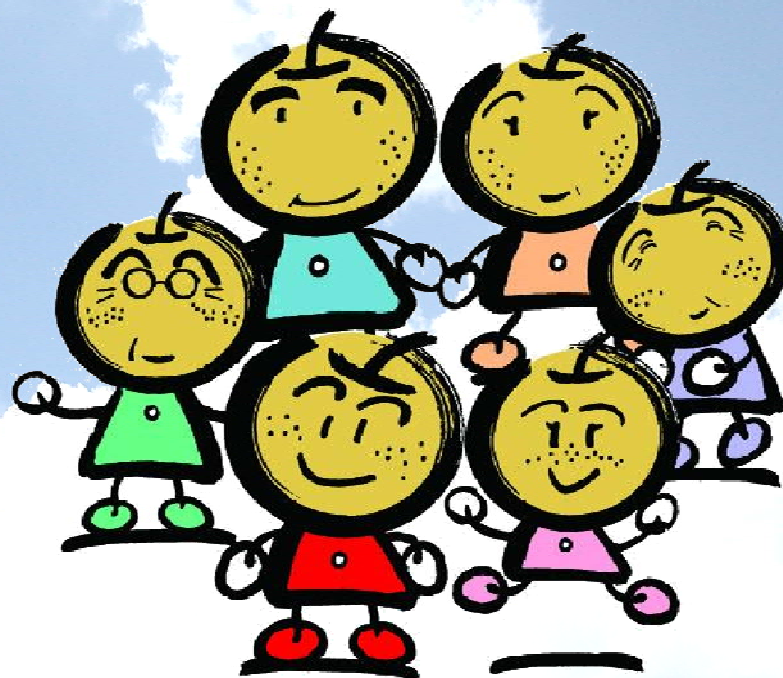
職員数推移

単位：人



行政改革について

1) これまでの取り組み、市民意識など



これまでの行政改革の取り組み

	第1次大綱	第2次大綱	第3次大綱	第4次大綱
年度	昭和61年度～ 平成7年度	平成8年度～ 平成15年度	平成16年度～ 平成21年度	平成22年度～ 平成27年度
内容 結果	・組織の見直し ・臨時職員の採用 ・補助金の抑制 ・休日勤務の振替 ・行政改革推進本部を設置 ・行政改革推進懇談会を設置 ・町政モニター制度を発足 など	・特殊勤務手当、旅費の見直し ・前納報奨金の廃止 ・休日・夜間の納付相談及び窓口納付、郵便局納付 ・シルバー人材センターの有効活用 ・職員給与の削減 など	・学校給食調理業務の民間委託 ・職員給与の削減 ・指定管理者制度の導入 ・電子申請届出サービスの開始 ・公共施設予約管理システム導入 ・市税などのコンビニ納付 など	・職員給与の削減 ・事業仕分けの実施 ・市民参加・協働のまちづくりプランの策定 など
効果額	—	315,807千円	2,243,587千円	953,063千円

**19年間で
3,512,457千円**

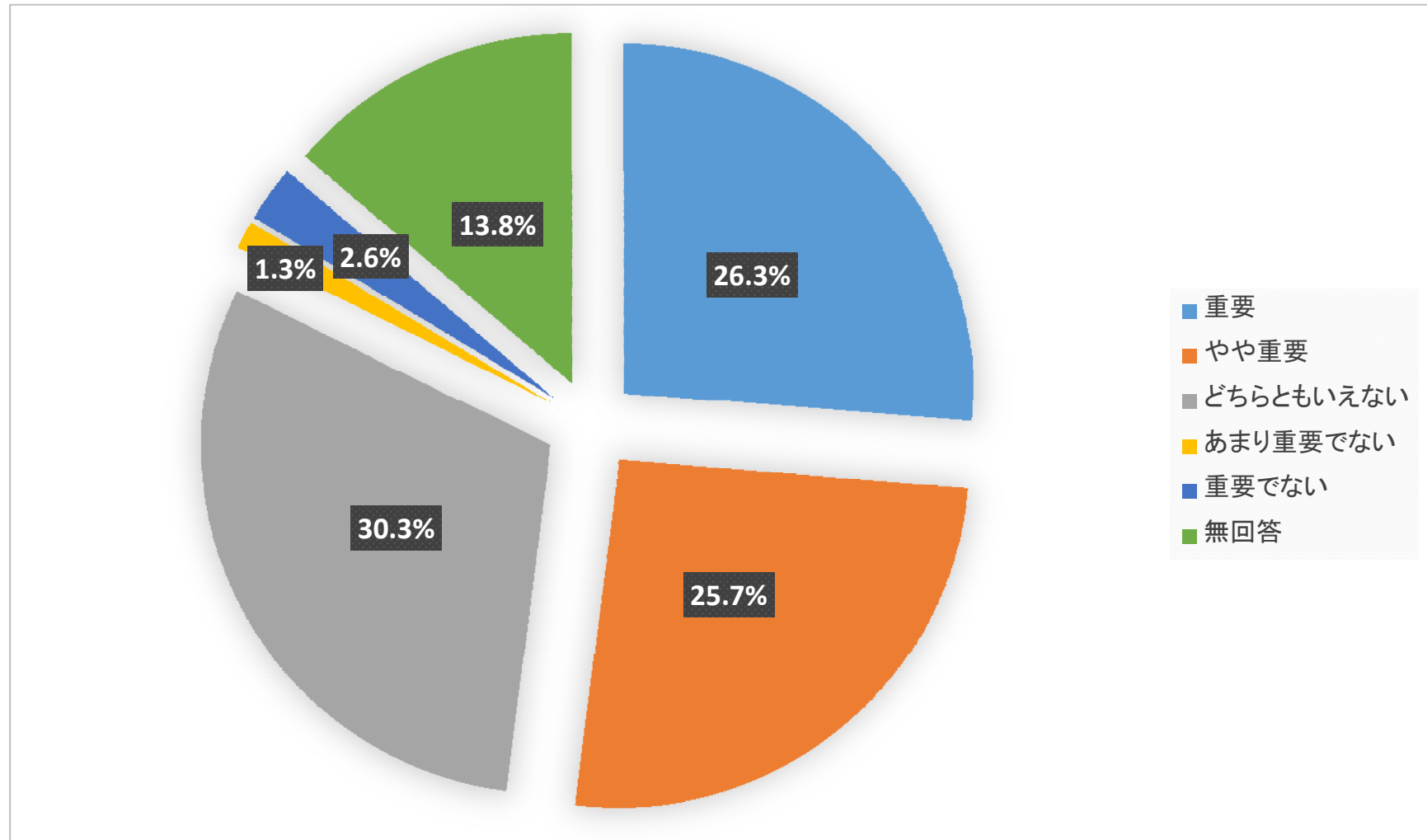
事業仕分けの実施

平成23年度から平成25年度の3カ年事業として、後期基本計画第1次実施計画の233事業の内、事業仕分けの効果が薄い事業を除いた全61事業について仕分けを行った

不要（不要・凍結）	3事業（割合4.4％）
必要性の再検討	5事業（割合7.7％）
国・県・広域	3事業（割合3.0％）
要改善	45事業（割合68.2％）
現行どおり	11事業（割合16.7％）

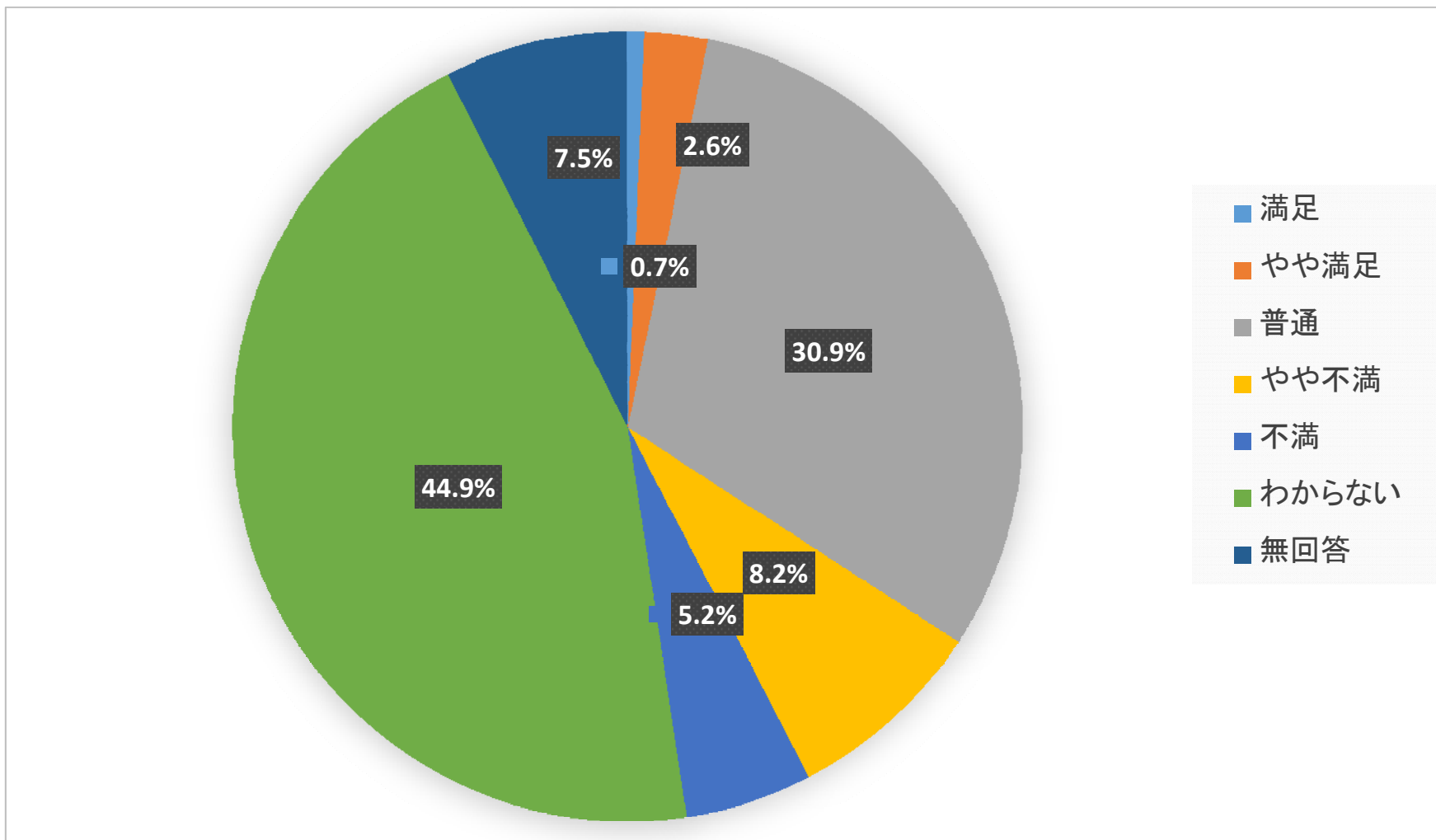
行政改革に対する市民意識

「健全な財政運営の推進」の重要度

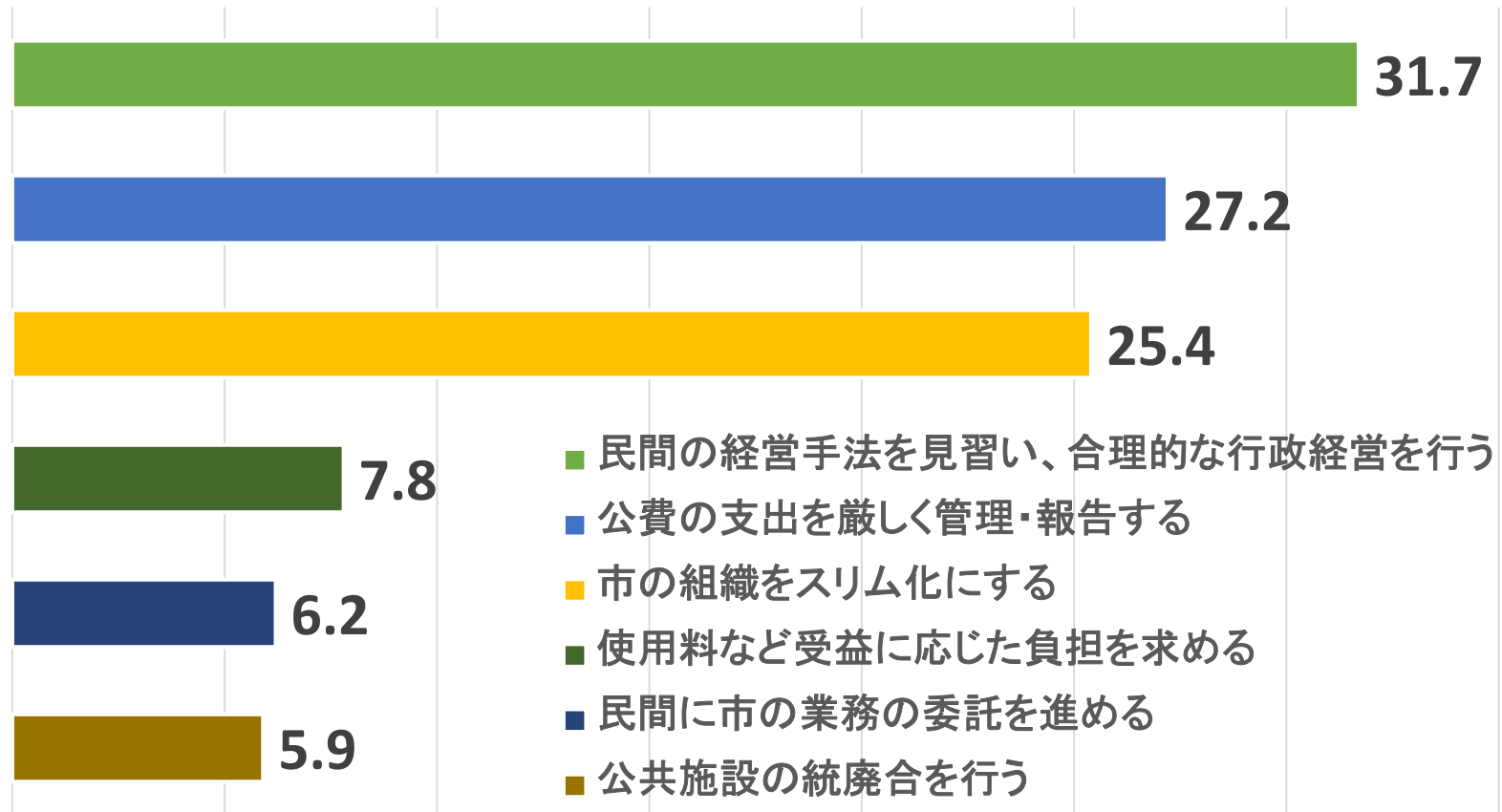


行政改革に対する市民意識

「健全な財政運営の推進」の満足度

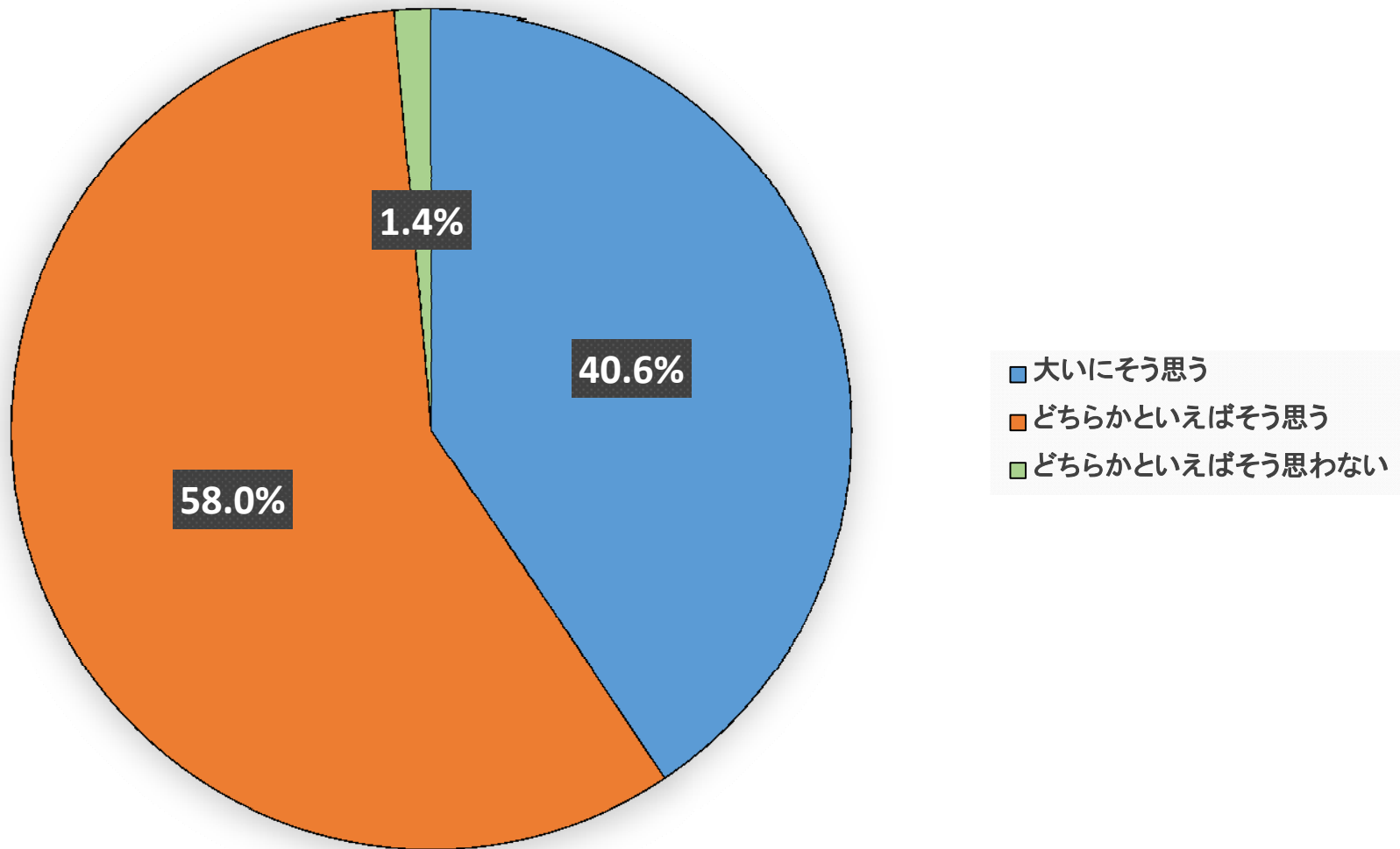


市の行政改革の取り組みで、特に力を入れる必要があるものは何か？

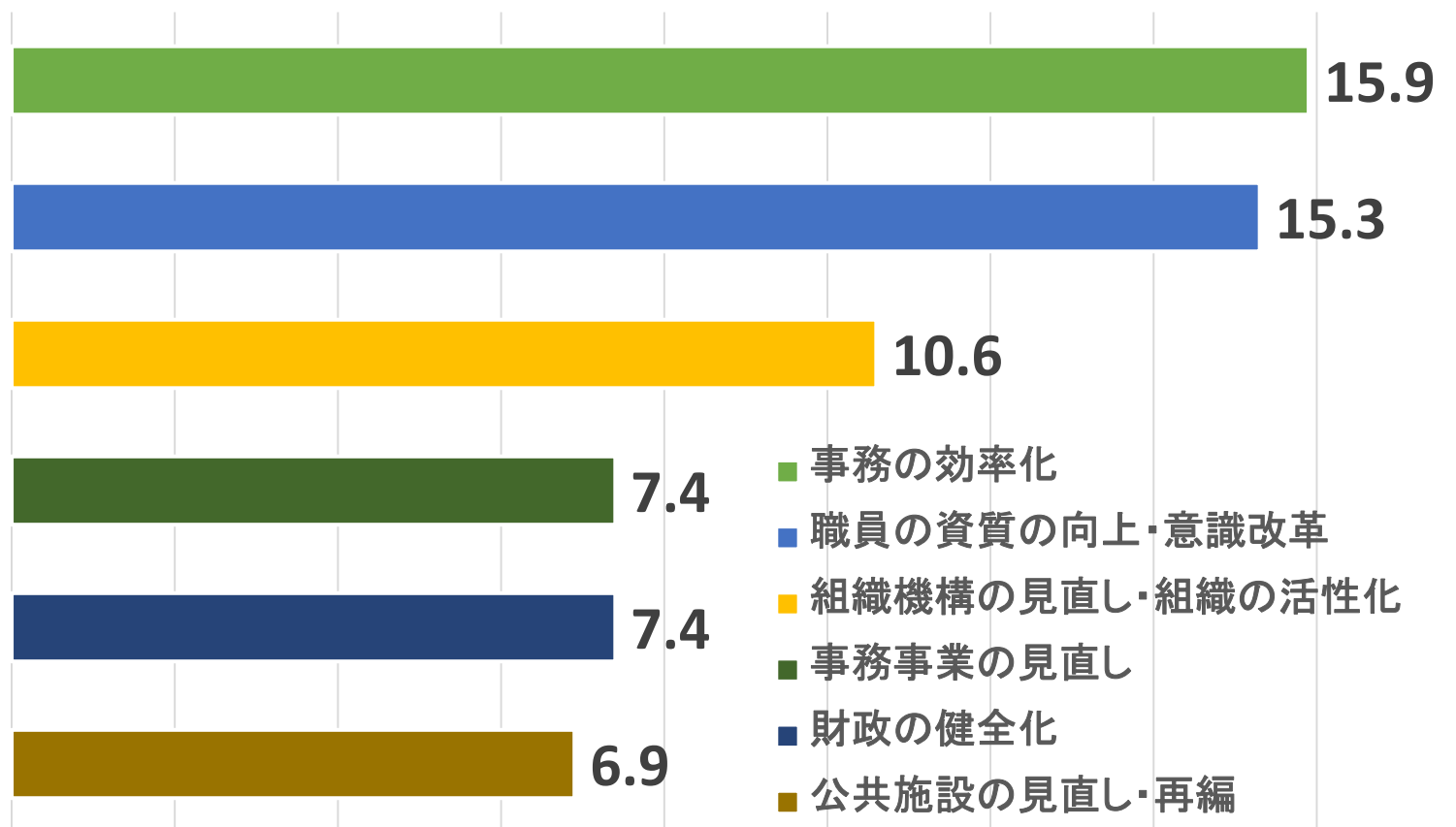


行政改革に対する職員意識

今まで以上に行革に力を入れるべきか？



今後どのような点に重点を置いた行革を実施すべきか？



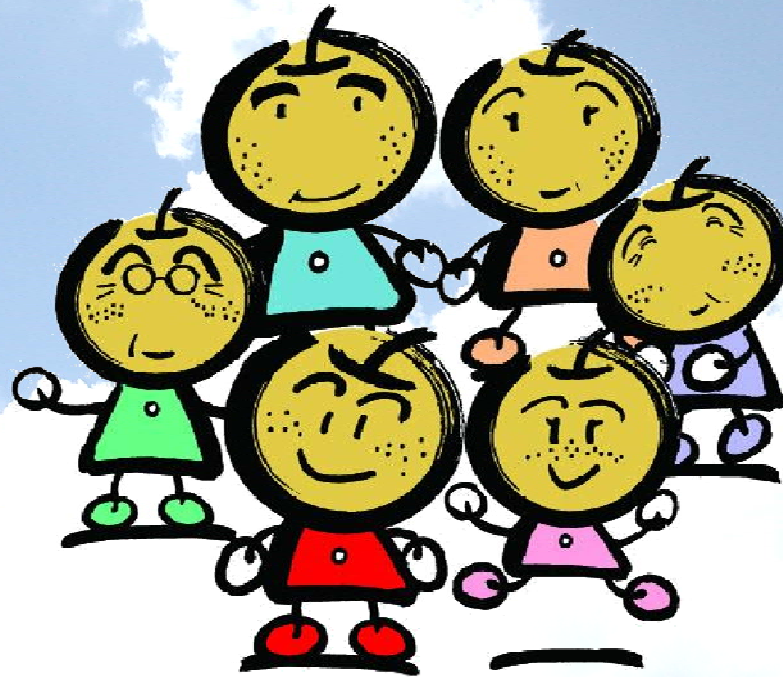
平成26年度健全化判断比率・資金不足比率

	平成26年度	平成25年度	早期健全化基準 (平成26年度)	財政再生基準 (平成26年度)
実質赤字比率	—	—	13.19%	20.00%
連結実質赤字比率	—	—	18.19%	30.00%
実質公債費比率	2.9%	3.6%	25.00%	35.00%
将来負担比率	—	—	350.00%	—

	平成26年度	平成25年度
白井市水道事業会計	—	—
白井市下水道事業特別会計	—	—
経営健全化基準	20.0%	20.0%

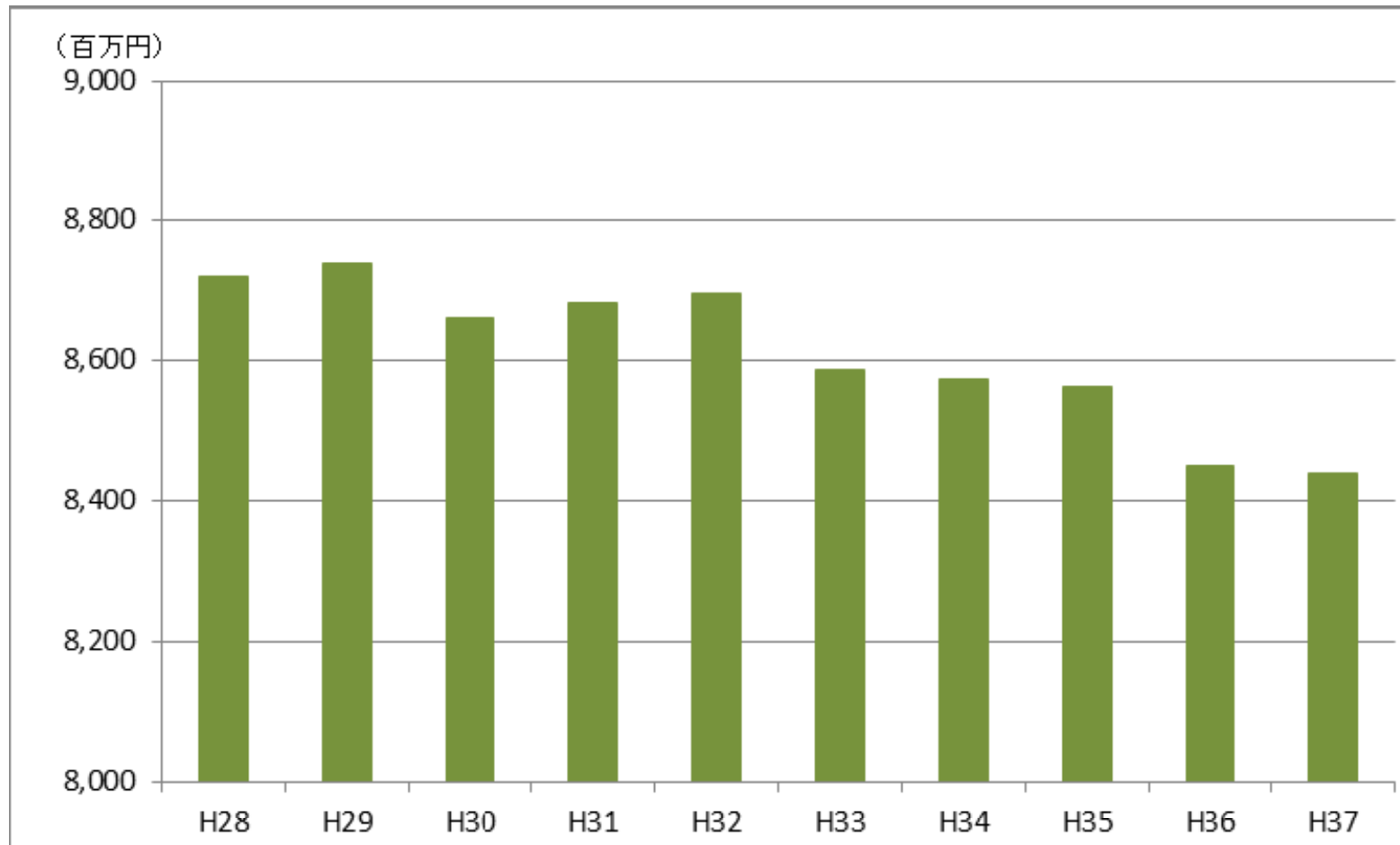
将来見通しについて

2) 市税・社会保障関連費など



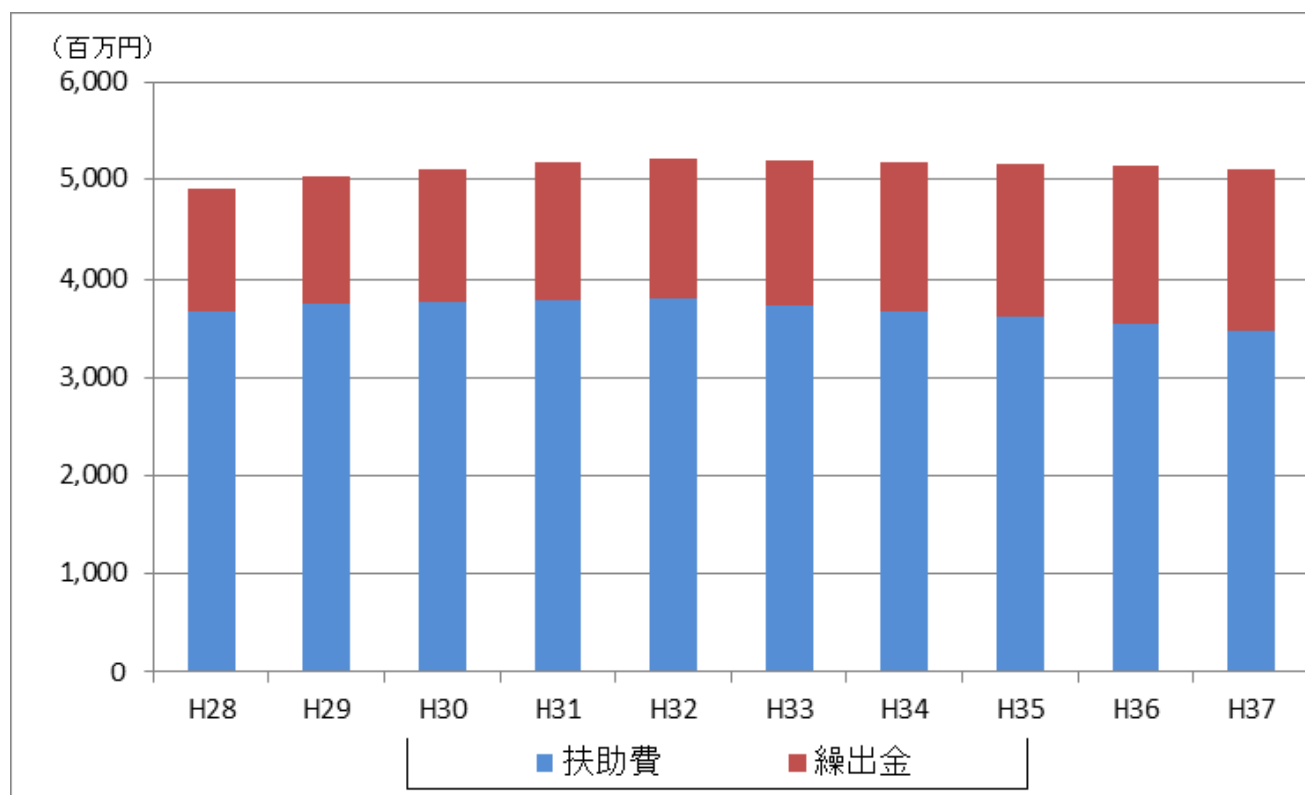
市税の見通し

- 市税は平成32年度までは87億円前後で推移しますが、その後減少していく見込みです



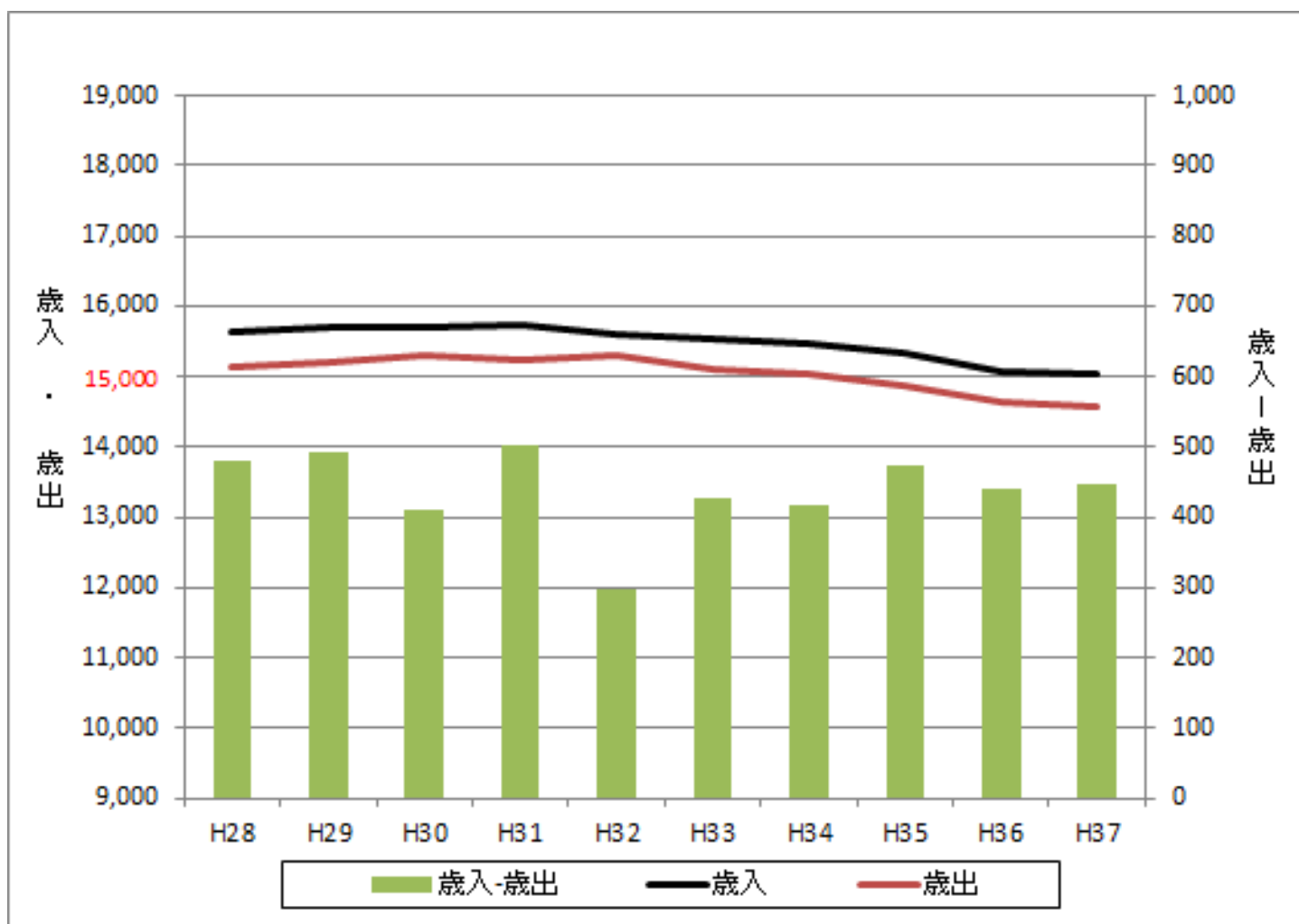
社会保障関連費の財政見通し

- 扶助費は、子どもや高齢者などを援助するための経費で、減少していく見込みです
- 繰出金は、介護保険や後期高齢者医療保険に対する負担金などで、増加していく見込みです
- 扶助費と繰出金の合計は、50億円前後でおおむね横ばいに推移する見込みです



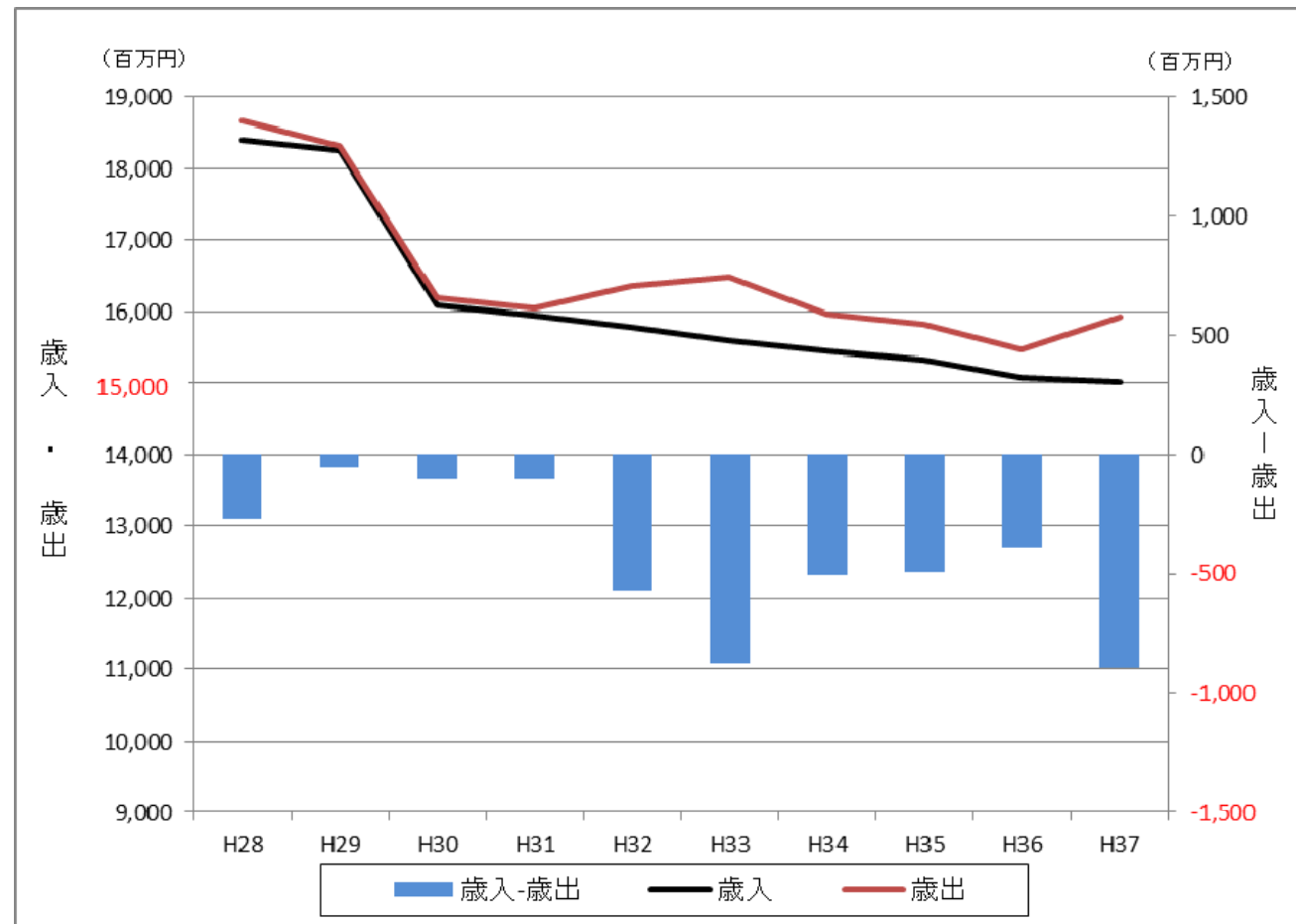
建設事業費を除いた場合の財政見通し

- 平成25年度決算額をもとに、人口の変動を踏まえながら、現行の行財政運営（建設事業を除く。）を続けた場合の財政の見通しは次のとおりです。
- 収支（歳入-歳出）は、おおむね3億から5億円のプラスで推移する見込みです。

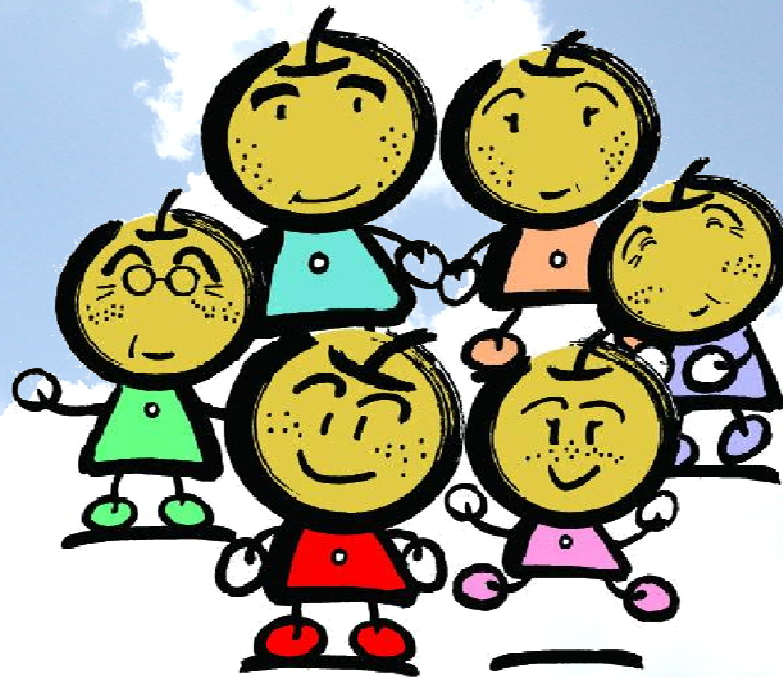


建設事業を含んだ場合の財政見通し

- 上記に加えて、今後予定している公共施設等の老朽化対策等の建設事業を見込んだ場合の財政の見通しは次のとおりです
- 収支(歳入-歳出)は、マイナスとなる見込みです。特に平成32年度以後は、おおむね5億円以上の財源不足が生じる見込みです



課題と取り組みについて



これからの大きな6つの課題

1. 急速な高齢化の進行

平成32年度には高齢化率が約26%

2. 公共施設等の老朽化

公共施設等の多くが建築後30年を経過

3. 人口減少社会の到来

平成32年度をピークに人口減少

4. 財政の硬直化

平成13年の市制以来経常収支比率は90%台

5. 財源不足

平成33年度以降は財政調整基金がなくなり、
平成37年度までに約26億円の財源不足

6. 地域コミュニティの構築

行政経営改革の取り組み (骨子)

情報発信

- ・ 行政経営ニュース・レター
- ・ 広報等による情報発信

改善運動

- ・ 白井KAIZEN運動

改革推進

- ・ 行政経営有識者会議
- ・ 行政経営指針
- ・ 公共施設等総合管理計画
- ・ 行政経営改革ビジョン

データから見える白井市(平成25年度)

面積

1位	市原市	368.20km ²
2位	君津市	360.83km ²
3位	千葉市	272.08km ²
41位	白井市	35.48km ²

人口密度

1位	浦安市	9,415.7人
2位	市川市	8,179.8人
3位	習志野市	7,942.6人
13位	白井市	1,736.5人

データから見える白井市(平成25年度)

年少人口比率(15歳未満人口)

1位	流山市	15.6%
1位	白井市	15.6%
3位	八千代市	14.7%
3位	印西市	14.7%

生産年齢人口比率(15歳～64歳人口)

1位	浦安市	70.5%
2位	市川市	68.5%
3位	印西市	67.8%
16位	白井市	64.3%

データから見える白井市(平成25年度)

老年人口比率(65歳以上人口)

1位	御宿町	42.8%
2位	鋸南町	39.8%
3位	南房総市	38.4%
50位	白井市	20.1%

1世帯当たり人員

1位	東圧町	3.12人
2位	芝山町	3.09人
3位	長南町	2.98人
16位	白井市	2.74人

データから見える白井市(平成25年度)

生産農業所得(農家1戸当たり)

1位	銚子市	6,417千円
2位	旭市	4,590千円
3位	富里市	4,463千円
10位	白井市	2,793千円

農業産出額

1位	旭市	4,183千万円
2位	香取市	3,213千万円
3位	銚子市	2,284千万円
30位	白井市	481千万円

データから見える白井市(平成25年度)

梨結果樹面積

1位	白井市	304ha
2位	市川市	272ha
3位	鎌ヶ谷市	228ha
4位	船橋市	181ha

梨の出荷量

1位	白井市	6,360トン
2位	市川市	5,870トン
3位	鎌ヶ谷市	4,760トン
4位	船橋市	3,770トン

データから見える白井市(平成25年度)

事業所規模(1事業所当たり従業者数)

1位	浦安市	20.3人
2位	芝山町	18.3人
3位	成田市	15.7人
10位	白井市	11.6人

製造品出出荷額等(1事業所当たり)

1位	市原市	14,187百万円
2位	袖ヶ浦市	11,999百万円
3位	君津市	8,053百万円
26位	白井市	801百万円

データから見える白井市(平成25年度)

完全失業率

1位	八街市	11.7%
2位	芝山町	8.8%
3位	長生市	8.5%
23位	白井市	6.8%

女性就業率

1位	旭市	50.3%
2位	富里市	50.0%
3位	多古町	48.8%
19位	白井市	45.2%

データから見える白井市(平成25年度)

要介護(要支援)認定比率(65歳以上)

1位	鋸南町	18.4%
2位	鴨川市	18.3%
3位	勝浦市	17.6%
46位	八街市・白井市	12.7%

介護給付費(受給者1人当たり月額)

1位	山武市	643,490円
2位	いすみ市	337,226円
3位	香取市	224,264円
53位	白井市	67,262円

データから見える白井市(平成25年度)

生活保護被保護者数(人口千人当たり)

1位	松戸市	17.9人
2位	千葉市	17.8人
3位	長柄町	14.6人
46位	白井市	5.1人

民生委員(児童委員)数(人口1万人当たり)

1位	南房総市	32.4人
2位	大多喜町	32.2人
3位	鋸南町	30.4人
46位	白井市	12.2人

データから見える白井市(平成25年度)

医療施設数(人口1万人当たり)

1位	館山市	15.6施設
2位	一宮町	15.1施設
3位	匝瑳市	14.1施設
47位	白井市外2町	8.7施設

医師数(人口1千人当たり)

1位	鴨川市	11.2人
2位	旭市	3.9人
3位	浦安市	2.9人
46位	白井市外2市町	0.8人

データから見える白井市(平成25年度)

交通事故発生件数(人口1千人当たり)

1位	酒々井町	6.5件
2位	館山市	5.6件
3位	鴨川市	5.4件
47位	白井市	2.6件

火災発生件数(人口1万人当たり)

1位	長南町	13.6件
2位	白子町	13.4件
3位	一宮町	12.5件
33位	白井市	3.8件

データから見える白井市(平成25年度)

犯罪発生件数(人口1千人当たり)

1位	東金市	18.8件
2位	浦安市	16.4件
3位	一宮町	16.3件
19位	白井市	12.6件

データから見える白井市(平成25年度)

財政規模(人口1人当たり決算額)

1位	芝山町	642,480円
2位	南房総市	527,808円
3位	大多喜町	504,529円
45位	白井市	274,932円

地方債現在残高(人口1人当たり)

1位	千葉市	792,263円
2位	南房総市	673,108円
3位	鋸南町	560,214円
42位	白井市	215,355円